

## 消防団員用被服 仕様書

### (1) 物品一覧表

		品名	予定数量
冬服 防男性 員消	1-	① 冬服上衣・ズボン	57
	1-	② 冬服制帽	57
	1-	③ 冬服ベルト	57
	1-	④ ネクタイ	57
夏服 防男性 員消	2-	① 夏服上衣・ズボン	57
	2-	② 夏服制帽	57
	2-	③ 夏服ベルト	57
消 冬防女 服団性 員	3-	① 冬服上衣	3
	3-	② 冬服キュロットスカート	3
	3-	③ 冬服制帽	3
	3-	④ ワンタッチ式ネクタイ	3
	3-	⑤ 冬服ベルト	3
団 女 性 消 防 夏 服 員	4-	① 夏服上衣	3
	4-	② 夏服キュロットスカート	3
	4-	③ 夏服制帽	3
	4-	④ ネクタイ	3
	4-	⑤ 夏服ベルト	3
活 動 服 消 防 団 員	5	① 活動服上衣・ズボン (男性)	57
		② 活動服上衣・ズボン (女性)	3
共 通 被 服	6	活動服ベルト	60
	7	消防団員活動服アポロキャップ	60
	8	保安帽	60
	9	雨衣	60
	10	静電安全靴	60
	11	長靴	60
	12	ケプラー手袋	60
	13	Tシャツ	60
	14	エンブレム	60

※ 契約期間内の発注数量を保証するものではありません。また、予定数量を超過する場合があります。

(2) 契約期間 契約日から令和9年2月28日まで

(3) 納入場所 八尾市消防本部警防課

### 暴力団等不当介入に関する特記仕様書

八尾市契約関係暴力団排除措置要綱に基づき、次のとおり措置するものとする。

- (1) 受注者及び下請負人等が契約履行に当り、暴力団員又は暴力団密接関係者による不当介入を受けたときは、八尾市暴力団排除条例第9条第2項に基づき、速やかに本市に報告するとともに、警察への届出をすること。
- (2) 前項の報告義務を怠ったと認められるときは、入札参加停止措置を行うものとする。
- (3) 受注者及び下請負人等が第1項の不当介入を受け、同項の規定に従い適切な報告、届出又は指導を行ったと認められる場合に限り、必要に応じて、履行期限の延期等の措置を講じることができる。

# 1 男性消防団員冬服仕様書

八尾市

## 男性消防団員冬服仕様書

八尾市において購入する男性消防団員冬服（制帽・ベルト付）の仕様の細部を次のとおり定める。

### 1 形式

- |            |           |
|------------|-----------|
| (1) 上衣・ズボン | 別添仕様書のとおり |
| (2) 制帽     | 別添仕様書のとおり |
| (3) ベルト    | 別添仕様書のとおり |
| (4) ネクタイ   | 別添仕様書のとおり |

### 2 証明書の提出

入札時に表生地について、紡績メーカーが発行する原反出荷引受証明を提出すること。

### 3 試作品の提出

調製にあたり、試作品を提出し当市係員の承認を受けたのち縫製をなすこと。  
尚、縫製上の疑義を生じた場合は速やかに当市係員と打合せの上、善処すること。

### 4 検収

検収は当市係員が立合の上で行い、場所は指定場所とする。

### 5 納品の保証

検収後であっても生地、縫製上等による不良品は供給業者が全て責任を持って無償で修理又は交換する。

### 6 裁断及び縫製等

- (1) 裁断及び縫製仕上げにあたり洗濯等により著しく収縮変形のない方法を講ずる。
- (2) 針数は地縫い、飾り縫い共、1 cm 間5針以上とする。
- (3) 釦穴はハトメ機械罫穴とする。
- (4) 縫い糸は 表縫い糸（絹又はテترون糸50番）穴カガリ糸（絹又はテترون糸）ボタン付糸（8番）地縫（綿50番）
- (5) 裁断各部分共、逆毛裁、襟以外の個所の斜裁及びハギは認めない。
- (6) 仕上は糸くずを取り丁寧にプレスすること。
- (7) ミシンの調子は上糸、下糸共ツレ・タルミのないこと。

### 7 その他

- (1) 納入時は、上記1形式一式を1つの袋又は段ボールに入れ、それぞれに分団名・階

級・氏名を明記すること。

- (2) 供給業者は、本仕様に明記されていない事項についても、見本のとおりとし、当然必要と認められる場合は紳士既製服の縫製によること。
- (3) 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した契約額のとおりとし、追加支出は一切認めない。

## 8 材料

### (1) 表地

ア 規格	ニッケ EK6835
	トップ染 エコロジアカシミアドスキン C/# 黒
イ 品質	毛 30%
	再生ポリエステル 69.5%
	制電性繊維 0.5%
ウ 糸番手	2/60 × 1/48
	帯電防止、強撥水・防汚(スーパーセルボニック)加工

### (2) 裏地

T303 C/# 黒  
静電防止・抗菌・防臭加工

### (3) 袋地

T5020 スレキ

### (4) フロント芯 特殊接着芯

ハスケル7661B

### (5) 襟芯

ハスケル768

### (6) 袖裏

T303

### (7) 腰裏

#7500 C/# グレー マーベルトラッセル入

### (8) ズボン袋地

#7500 C/# グレー

### (9) 膝当地

人絹布

### (10) 付属釦

前釦金属製釦 径20mm

### (11) 内釦樹脂四ッ穴

タライ釦 径15mm

### (12) 前立

YKK製ファスナー

### (13) 肩綿

綿又は弾力性のある合繊

## 1-① 冬服上衣・ズボン

### 1 上衣仕様

- (1) 型式  
剣襟、シングル・3ツ釦、左胸箱縁ポケット、袖口ブレード、両腰片玉縁フラップポケット、背抜仕立、センターベンツ。
- (2) 飾りミシン  
5mm ミシン飾り
- (3) 襟及び襟つけ  
カラークロスに芯を添えてルイス刺しをし折返り線にミシン縫いをする。芯はバイヤスで取り、表襟とカラークロスと合わせ縫い返し裏襟はすくい縫いとする。表襟は見返しと合わせてミシン縫いとする。上襟巾中央で8.5cm、襟先巾別図の通り襟腰巾6.5cm、ルイス掛けにし襟腰に1本ミシンを入れる。
- (4) 返し止め縫い  
襟付部から第1釦及び第1穴横まで星留め縫いを入れる。
- (5) ステッチ  
上襟、返り襟、フロント、胸、腰ポケットに巾0.6cmのステッチを入れる。
- (6) 裏  
背抜仕立て、背中央25cm、脇11cm以上折込飾りミシン押さえ。
- (7) 身返し  
襟付けから裾まで継目なし身返しは第1釦位置で9cm裾で7cm以上とする。
- (8) 芯  
肩、胸、前面、腰ポケット、前門の個所を通し裾身返し全面に入れる。
- (9) 胸ポケット  
口巾11cm、深さ15cm、箱巾2.5cmとする。
- (10) 腰ポケット  
フラップポケット口巾15cm、深さ20cmとし下前のみ忍びポケット口上端より6cm下に口巾10cm、深さ9cmを付ける。
- (11) 内ポケット  
左右内側胸部に1ヶを付け、片玉縁、雨蓋付14mmハトメ穴とする。口巾は13.5cm、深さ20cmとする。
- (12) ダーツ  
脇・胸1本ウエスト線まで、裏も同様、表ダーツは割り縫い、裏ダーツは片倒しとする。
- (13) 肩縫い  
表は割り縫い、裏は片倒しとし、肩綿を入れる。
- (14) 袖付け  
袖裏はまつり縫い又はミシン縫いとする。
- (15) 袖  
割り縫い、上袖は袖芯を入れる。袖線は1.2cmの金縞線を袖口より10cm上の所に付ける。
- (16) 裾  
フラシ奥縫いミシン縫い可、表地折込は40mm以上とする。
- (17) 背及び脇縫い  
割り縫いとする。

- |              |  |
|--------------|--|
| (18) 階級章取付位置 | 下前の指定する位置にタテ 1.5 c m、ヨコ 2.5 c mのループを縫い付ける。 |
| (19) センターベンツ | 背中央裾に作る。                                   |
| (20) 釦ホール    | ハトメ機械穴とする。                                 |
| (21) 襟吊り     | 襟腰中央に付ける。                                  |
| (22) 片 布     | 上前、内ポケット釦下 2 c m中央外に付ける。                   |
| (23) 品質表示    | 片布の下に付ける。                                  |

## 2 ズボン仕様

- |            |   |
|------------|---|
| (1) 型式     | ワンタックアジャスター（ゴム式とスライド式併用）、裾シングル型、オビ付（巾 4cm）、側章付。   |
| (2) 前タック   | 左右各 1 本を外向に付ける深さ 1 0 mm。  |
| (3) 腰裏     | スベリ止め付きマーベルトを付ける。   |
| (4) アジャスター | ウエストを + 1 0 c m・ - 8 c m伸縮できるアジャスター（ゴム式とスライド式を併用した構造）を取り付ける。  |
| (5) ループ    | 上端より 1 c m下に巾 0.8 c m長さ 4 5 mm のループを 7 本付ける。  |
| (6) 脇縫い    | 割り縫いとする。  |
| (7) 脇ポケット  | 脇縫い前身上部で巾 5 c m上端より 7 c mの位置で 15 c mのポケット口巾として、機械門をポケット上部下部に行う。<br>ポケットの深さは下部門より 12 c m以上とする。ポケット巾は下部門の位置で 15 c mとする、上部門の位置にて白布の巾 8 c m以上を袋地として縫い付ける。<br>袋の裾は縫い返しかざり 6 mm にて縫う。 |
| (8) 内ポケット  | 右側内側に口巾 8 c m丈 5 c mの小ポケットを付ける。   |
| (9) 側章     | 巾 1.5 c mの黒色のななこ織を脇線から後側に付ける。   |
| (10) 尻ポケット | 左右後方位置にポケットを付ける。<br>袋地はポケット位置に張り必ず腰かざり上部にかかる様に縫い付ける。<br>口巾 14 c mで片玉縁にて雨蓋なしとし、左側にハトメ穴ボタンホールをかがる。右側はなしとする。   |
| (11) タック   | 尻ポケット巾の中に 2 条のタックをとる。   |
| (12) 尻縫い   | 割り縫いとし二重縫いにすると共に上部で 2 c m以上の縫代とする。  |
| (13) 前立天狗  | 前立はファスナー開きとする。<br>上部にカギホックを付ける。<br>天狗に芯地布を付ける。  |

- |           |  |
|-----------|--|
| (14) 棒シック | 小又門より後身に7 c m以上のシックを付ける。                 |
| (15) ひざ当  | 付けないこと。                                  |
| (16) 裾    | 折り返しは5 c m以上とし巾2 c m、丈 15 c m以上の靴ズレをつける。 |
| (17) 片布   | 右側脇ポケット上部中央に付ける。                         |
| (18) 品質表示 | 片布の下中央に付ける。                              |

### 3 納入

入念な仕上げを行い、1着毎に整理し、袋入りとし、所属・氏名・サイズを明記の上、所属毎に梱包し指定場所へ納入すること。

### 4 その他

- (1) 使用生地、付属品等は当市係員に提出し、検査を受け許可を受けた後使用のこと。
- (2) 採寸は、別紙寸法の着せ付け寸法とし、合わない者は別寸とし、採寸にあつては、当市の指定期日・場所に、契約者が採寸用上衣、ズボンを持参し採寸する。
- (3) 本仕様書の疑義については、当市係員の指示解釈によるものとする。

# 男性消防団員冬服サイズ表

## 上 衣

(上り寸法) (単位：c m)

	着丈	肩巾	袖丈	胸囲
AS	70	44	55	102
AM	72	45	56	106
AL	74	46	58	110
ALL	76	47	60	114
A3L	79	49	63	118
BS	70	45	54	110
BM	72	47	55	114
BL	74	49	57	118
BLL	76	50	59	122
B3L	78	53	62	128
B4L	78	56	63	140
YM	72	43	57	103
YL	74	44	59	106
YLL	76	45	61	109

## ズ ボ ン

(単位：c m)

	腰廻	股下
YS	72	72
YM	76	75
YL	80	78
YLL	84	80
AS	74	67
AM	78	70
AL	82	73
ALL	88	76
BS	85	70
BM	91	70
BL	95	73
BLL	100	73

※ 規格にないサイズは無償で規格外発注すること。



## 1-② 冬服制帽

### 1 材 料

- |         |  |
|---------|--|
| (1) 表生地 | ニッケ #6835 C# 黒<br>トップ染カシミアドスキン<br>静電防止・強撥水・撥油加工<br>毛 30%<br>ポリエステル 69.5%<br>制電性繊維 0.5% |
| (2) ひさし | ビニールレザー（ツヤ入り）とする。  |
| (3) アゴ紐 | ひさしと同じ   |

### 2 型 式

新基準型とする。

### 3 縫製要領

- (1) 帽章はフェルト地を使用した金モール製帽章を本体に取り付ける。なお、この場合帽章の中央が中心となるようにし、帽章の一角が必ず頂点をさしていること。取り付け位置は別図のとおりとする。
- (2) ひさしはビニールレザーとし、色は黒色ツヤ入りとする。
- (3) あごひもは前ひさしの表と同色とし、色は黒色ツヤ入りとする。
- (4) 腰（びん革）はデラクールを使用し、片織り玉縁とし、上下両端を飾りミシン縫いとする。
- (5) 前立バネは扇型ポリエチレン板に、鋼入りバネを縫いつけたものとする。
- (6) 耳釦は真鍮製の金色団マーク型とする。
- (7) 天張りは発砲スチロールを入れる。
- (8) 裏張りは汗切り用ビニールフィルムとする。

### 4 その他

- (1) 帽子は、できるだけ軽くする。
- (2) 裁断は生地の布目を正しく合わせてする。
- (3) 各部の縫製要領及び付属の形状、寸法等、仕様に明記されていない事項については、当市係員と協議し良心的に施行すること。

## 男性消防団員冬服制帽サイズ表

単位 c m

頭廻	天井縦	天井横	前まち幅	後まち幅
60	28.5	27.0	6.5	4.5
59	28.0	26.5	6.5	4.5
58	27.5	26.0	6.5	4.5
57	27.0	25.5	6.5	4.5
56	26.5	25.0	6.5	4.5
55	26.0	24.5	6.5	4.5
54	26.0	24.5	6.5	4.5

- ※ 数値は出来上がり寸法を示す。
- ※ 別寸者は、別途指示する。
- ※ 腰幅は、各号とも4.7cmを基準とするが、金線入りの場合は若干広くなる事とする。

## 1－③ 冬服ベルト

### 1 規格

- (1) ナイロン製又は同等以上のもの。
- (2) バックルは中央に消防団の刻印がされており、ローラーバックル式とする。
- (3) 色相は、冬制服ズボンと同系の黒色とする。
- (4) 長さについては、すべて同じ長さ（120cm以上）とする。なお、規格外サイズがある場合は当市係員の指示を受けること。

## 1-④ ネクタイ

- 1 形式（品番：NS8002-5）  
裏付棒ネクタイとする。
- 2 裁断  
表地及び芯地とも正バイアスとする。
- 3 形状
  - (1) 長さ 142cm
  - (2) 前先巾 9cm
  - (3) 後先巾 4cm
- 4 生地
  - (1) 素材 再生ポリエステル 100%
  - (2) 織 陣目織
- 5 芯地
  - (1) 品名 ポリエステル芯
  - (2) 素材 ポリエステル 100%
- 6 色  
ベースはオレンジ色で紺色とシルバーのストライプ入りとする。

## 2 男性消防団員夏服仕様書

八尾市

## 男性消防団員夏服仕様書

八尾市において購入する男性消防団員夏服（制帽・ベルト付）の仕様の細部を次のとおり定める。

### 1 形式

- (1) 上衣・ズボン 別添仕様書のとおり
- (2) 制帽 別添仕様書のとおり
- (3) ベルト 別添仕様書のとおり

### 2 証明書の提出

入札時に表生地について、紡績メーカーが発行する原反出荷引受証明を提出すること。

### 3 試作品の提出

調製にあたり、試作品を提出し係員の承認を受けたのち縫製をなすこと。

尚、縫製上の疑義を生じた場合は速やかに係員と打合せの上、善処すること。

### 4 検収

検収は当市係員が立合の上で行い、場所は指定場所とする。

### 5 納品の保証

検収後であっても生地、縫製上等による不良品は供給業者が全て責任を持って無償で修理又は交換する。

### 6 裁断及び縫製等

- (1) 裁断及び縫製仕上げにあたり洗濯等により著しく収縮変形のない方法を講ずる。
- (2) 針数は地縫い、飾り縫い共、1 cm 間 5 針以上とする。
- (3) 釦穴はハトメ機械門穴とする。
- (4) 縫い糸は、表縫い糸（絹又はテトロン糸 50 番） 穴カガリ糸（絹又はテトロン糸） ボタン付糸（8 番） 地縫（綿 50 番）
- (5) 裁断各部分共、逆毛裁、襟以外の個所の斜裁及びハギは認めない。
- (6) 仕上げは糸くずを取り丁寧にプレスすること。
- (7) ミシンの調子は上糸、下糸共ツレ・タルミのないこと。

### 7 その他

- (1) 納入時は、上記 1 形式一式を 1 つの袋又は段ボールに入れ、それぞれに分団名・階級・氏名を明記すること。

- (2) 供給業者は、本仕様に明記されていない事項についても、見本のとおりとし、当然必要と認められる場合は紳士既製の縫製によること。
- (3) 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した契約額のとおりとし、追加支出は一切認めない。

## 2-① 夏服上衣・ズボン

### 1 制式

#### (1) 型式

- ア 上衣      カッター襟型肩章付き、長袖(カフス式)・左右胸ポケット雨蓋付き(釦止め)。  
イ ズボン      長ズボン、腰帯付、裾口シングル、両脇ポケット、左右尻ポケット付き、ウエストアジャスター付き。

#### (2) 使用生地材料(上衣)

- ア 素材      東レ サマーリーン <PC631>  
イ 混紡率      ポリエステル 72%      綿 15%  
                 ナイロン(抗菌防臭繊維) 13%  
ウ 色相      C/# 2(指定色)

#### (3) 使用表生地材料(ズボン)

- ア 素材      東レ 先染め・抗菌・消臭トロピカル  
                 <FT2020>  
                 静電防止素材(導電性繊維全面混入)  
イ 混紡率      再生ポリエステル 55%      ポリエステル 10%  
                 レーヨン 25%      消臭繊維 10%  
ウ 色相      C/# TMA200

### 2 縫製条件

#### (1) 針数

3cm間で地縫いは、12針以上、飾り縫いは12針以上、オーバーロックは8針以上とする。

#### (2) 穴かがり

上衣は平穴、ズボンは鳩目穴小門止めとする。

#### (3) ボタン付け

機械付け又は、手付けとする。手付けは2本の糸を1個の穴に3~4回通し根巻きは3回以上とする。

#### (4) 裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。縫い糸はテトロン糸を使用すること。

また、糸始末を丁寧に行うこと。

### 3 縫製

#### (1) 上衣

- ア 主襟



襟にはテトロン芯を入れ、襟巾は背中央で 4.5cm（襟台巾 3.7cm）襟先巾 8cm とする。

イ 身 頃

前身のハギは認めない。

ウ 襟 吊

襟吊は所定のものを襟付け中央にはさみ縫付とする。

エ 胸ポケット

胸ポケットは左右 2 個で雨蓋付きとし釦止めとする。雨蓋には、芯を入れ、巾中央で高さ 6cm（端部で高さ 4.5cm）横巾 14cm とする。胸ポケットは横巾 13.5cm、深さ 14.5cm、インダーツとする。

オ ペン差し等

左胸ポケットの雨蓋前端より 2cm 内側に巾 2cm のペン差しをつけ、左右両胸ポケットとも中心側に手帳止めループをつける。

カ 前立て

前立ては表ガク付きとし、釦を 6 個つける。ガク巾は 4cm とする。

キ 背部（ヨーク）

2 枚ハギとする。巾は中央部で 7cm（AL サイズ）とし、表一条飾りミシン縫いとする。（1 枚は不可）

ク 肩縫い

片倒しくるみ縫いとする。

ケ 脇縫い

本縫し更にオーバーロックをかける。（インターロックミシン可）

コ 袖縫い

袖の縫合せは本縫し、更にオーバーロックをかける。（インターロックミシン可）

サ 袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかけること。（インターロックミシン可）

シ 袖 口

長袖はノボリ付きとし、カフス巾 6cm、のぼりの高さ 15cm とする。開き 12cm とし、ボタンはカフスに 2 個、ノボリに 1 個取り付ける。

ス 片 布

上前胸ポケット裏面中央に所属・名前等を記入できる片布を縫付け、その下に品質表示を縫付ける。

セ サイズネーム

襟付中央の下線に、はさみ縫い付ける。

ソ 階級章台

下前身頃雨蓋付根、中央上部 1.5cm 上に、縦 3.0cm 横 4.0cm の面ファスナーを四方縫い付ける。

タ 肩 章

巾は4.5cmとし、端を袖付けの縫目に縫込み、クロスステッチを入れる。肩章の先は襟付根部とし、ボタンで止める。

チ 裾折返し

裾は三ツ巻き縫いとして、ワイシャツ式とする。

ツ エンブレム台

左袖に袖付けより約8cm下に指定の型のエンブレム用面ファスナーを縫い付ける。

(2) ズボン

ア 前タック

左右各2本を外向けに付け、ツータックとする

イ 腰 帯

帯巾3.5cm仕上り寸法とし、芯地を入れ、裏はマーベルト（滑り止め）付きとし、ウエスト調整金具（アジャスター）を取り付け、落としミシン掛けとし両端に前かんをつける。

ウ ループ

上部より1cm下にループ巾1cm、長さ5cmのループを8本付ける。ただし、後ろ中心のループは2本とする。

エ 脇ポケット

両脇口の個所に0.6cmの飾りを掛け、他は割り縫い、口巾15cm、深さ上門より27cm、袋巾16cmとし、向当布を内外につけ、口端に門止めをする。右袋内に共生地で小物ポケットを縫い付ける。

オ 尻ポケット

上端より9cm下に口巾14cm、深さ18cm片玉にて左右に蓋なしのポケットを付け、左はボタン止めとする。ポケット両口端にはそれぞれ門止めとする。

カ 相引き・内股尻縫い

裁ち目はオーバーロック、内股、尻縫いはミシンで2回縫いし、特に尻縫いは、糸切れを防ぐため、伸ばして地縫いする。（脇は片倒しし、ステッチをかける。）

キ 棒シック袋

地使用、尻縫目にミシン目が表に出ないように長さ10cm、巾2cmのものを付ける。

ク 裾 口

ハーフ仕立てとし、裾上げ用のテープを付ける。

ケ 靴づれ

袖の内側に幅約2cm、長さ約14cmの靴づれを縫い付ける。

コ 片 布

上前、脇ポケット裏に上衣と同等の片布を付ける。

サ サイズネーム

上前、腰裏に取り付ける。

シ 穴かがり

機械穴、鳩目とする。

#### 4 納入

入念な仕上げを行い、1着毎に整理し、袋入りとし、所属・氏名・サイズを明記の上、所属毎に梱包し指定場所へ納入すること。

#### 5 その他

- (1) 使用生地、付属品等は当市係員に提出し、検査を受け許可を受けた後使用のこと。
- (2) 採寸は、別紙寸法の着せ付け寸法とし、合わない者は別寸とし、採寸にあつては、当市の指定期日・場所に、契約者が採寸用上衣、ズボンを持参し採寸する。
- (3) 本仕様書の疑義については、当市係員の指示解釈によるものとする。

# 男性消防団員夏服サイズ表

## 上 衣

(出来上がり寸法) (単位：cm)

	上衣丈	胸囲	肩巾	袖丈	ネック
AS	78	100	43	53	37
AM	80	105	44	55	38
AL	82	110	46	57	39
ALL	84	115	48	59	40
A3L	86	118	49	63	42
BS	78	108	45	52	38
BM	80	114	47	54	40
BL	82	120	49	56	42
BLL	84	124	51	56	45
B3L	86	128	53	60	47

## ズ ボ ン

(単位：cm)

	腰廻	股下	ワタリ巾
A1	70	フリーサイズ	33
A2	73	〃	33
A3	76	〃	34
A4	79	〃	34
A5	82	〃	35
A6	85	〃	35
A7	88	〃	36
B2	91	〃	36
B3	95	〃	37
B4	100	〃	38
B5	105	〃	39
B6	110	〃	40

## 2-② 夏服制帽

### 1 材 料

- (1) 素 材 : 東レ 先染め・抗菌・消臭トロピカル  
<FT2020>  
静電防止素材(導電性繊維全面混入)
- (2) 混紡率 : 再生ポリエステル 55% ポリエステル 10%  
レーヨン 25% 消臭繊維 10%
- (3) 色 相 : C# TMA200  
\*入札時: 紡績メーカーの原反出荷引受書を提出すること。  
\*契約時: 紡績メーカーの原反出荷済証明書を提出すること。
- (4) ひさし : ビニールレザー(エナメル仕上げ)とする。
- (5) メッシュ 東レ#2221 ポリエステル 100%

### 2 型 式

東消型とする。

### 3 縫製要領

- (1) 帽章は黒色フェルト地を使用した金モール製帽章を本体前部に取り付ける。なお、この場合帽章の中央が中心となるようにし、帽章の一角が必ず頂点をさしていること。取り付け位置は別図のとおりとする。
- (2) ひさしはビニールレザーとし、色は黒色ツヤ入りとする。
- (3) あごひもは前ひさしの表と同色の皮とし、色は黒色ツヤ入りとする。
- (4) 腰(びん革)はデラクールを使用し、片織り玉縁とし、上下両端を飾りミシン縫いとする。
- (5) 前立バネは扇型ポリエチレン板に、鋼入りバネを縫いつけたものとする。
- (6) 耳釦は金色団マーク付き(割り足)とする。
- (7) 天張りは硬質ビールに19番銅線を2本入れたものとする。
- (8) 裏張りは汗切り用ビニールフィルムとする。

### 4 その他

- (1) 帽子は、できるだけ軽くする。
- (2) 裁断は生地の布目を正しく合わせてする。
- (3) 各部の縫製要領及び付属の形状、寸法等、仕様に明記されていない事項については、当市係員と協議し良心的に施行すること。

### 5 サイズ

頭回り54cmから1cmきざみとする。

## 2-③ 夏服ベルト

### 1 規格

- (1) ナイロン製又は同等以上のもの。
- (2) バックルは中央に消防団章が刻印されており、ローラーバックル式とする。
- (3) 色相は、夏制服ズボンと同系の類似色。
- (4) 長さについては、すべて同じ長さ（120cm以上）とする。なお、規格外サイズがある場合は当市係員の指示を受けること。

### 3 女性消防団員冬服仕様書

八尾市

## 女性消防団員冬服仕様書

八尾市において購入する女性消防団員冬服（制帽・ネクタイ付）の仕様の細部を次のとおり定める。

### 1 形式

- |               |           |
|---------------|-----------|
| (1) 上衣        | 別添仕様書のとおり |
| (2) キュロットスカート | 別添仕様書のとおり |
| (3) 制帽        | 別添仕様書のとおり |
| (4) ネクタイ      | 別添仕様書のとおり |
| (5) ベルト       | 別添仕様書のとおり |

### 2 証明書の提出

入札時に表生地について、紡績メーカーが発行する原反出荷引受証明を提出すること。

### 3 試作品の提出

調製にあたり、試作品を提出し係員の承認を受けたのち縫製をなすこと。  
尚、縫製上の疑義を生じた場合は速やかに係員と打合せの上、善処すること。

### 4 検収

検収は当市係員が立合の上で行い、場所は指定場所とする。

### 5 納品の保証

検収後であっても生地、縫製上等による不良品は供給業者が全て責任を持って無償で修理又は交換する。

### 6 裁断及び縫製等

- (1) 裁断及び縫製仕上げにあたり洗濯等により著しく収縮変形のない方法を講ずる。
- (2) 針数は地縫い、飾り縫い共、1 c m間5針以上とする。
- (3) 釦穴はハトメ機械罫穴とする。
- (4) 縫い糸は 表縫い糸（絹又はテトロン糸50番）穴カガリ糸（絹又はテトロン糸）ボタン付糸（8番）地縫（綿50番）
- (5) 裁断各部分共、逆毛裁、襟以外の個所の斜裁及びハギは認めない。
- (6) 仕上は糸くずを取り丁寧にプレスすること。
- (7) ミシンの調子は上糸、下糸共ツレ・タルミのないこと。



## 7 その他

- (1) 納入時は、上記1形式一式を1つの袋又は段ボールに入れ、それぞれに分団名・階級・氏名を明記すること。
- (2) 供給業者は、本仕様に明記されていない事項についても、見本のとおりとし、当然必要と認められる場合は紳士既製の縫製によること。
- (3) 当活動服の製作に要する費用は、契約した契約額のとおりとし、追加支出は一切認めない。

## 3-① 冬服上衣

### 1 材 料

#### (1) 生地一般

ア 原糸は、糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなど目立たない良質のものを使用する。

イ 織り上がりは、均整で、織キズ、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないものとする。

#### (2) 表生地等

別表のとおりとする。

### 2 形 状

総裏、背広型、サイドベンツ、二枚袖とし、左胸に箱ポケット、両腰に雨蓋付きポケット、肩章、袖章、左袖ワッペン台座、右胸に階級章止めループを付ける。

### 3 縫 製

#### (1) 一般

ア 各部の縫合は、縫目の飛び、はずれがない優良なものとする。

イ 縫代は、各部分に適した十分なものとする。

ウ 糸調子は、縫目が優良で縫い曲がりがないものとする。

エ 縫目数は、次の数値を標準とする。

地縫い運針数 13針／3cm間

飾りステッチ運針数 13針／3cm間

オ 飾りステッチ幅は、特に指定する部分以外はコバステッチ（端ミシン）とする。

《ステッチ箇所 別表〔2〕参照》

カ プレス仕上げは、品質を損なわないようにする。

キ 接着芯を使用する部分は、すべて高压加熱式プレス機を用いて全面接着をする。

ク 布目は、パターン指定通りにする。

### 4 仕 様

#### (1) 衿

テーラードカラー、芯接着、表飾りステッチなし、裏コバ入れる。

#### (2) 前身頃

ア 前身頃・前見返し全面芯接着。裏コバ見返し押さえを入れる。

イ 前中心釦（シルバーボタン21mm）4ヶがけ。

ウ 胸ポケット

\* 左のみ箱ポケットを付ける。付けは割り縫い。

芯を接着、ポケット袋の深さ、前中心側で11cm。

エ 腰ポケット

\*左右に雨蓋付き両玉縁ポケットを付ける。雨蓋に芯接着、雨蓋裏は裏地使用、袋地はスレキ使用。

(3) 肩章

袖側で巾5.5cm、先で巾4cmの剣先型。表に芯接着。

周囲にコバステッチをかける。

袖側は袖割りに挟み込み、先は釦止めする（生地同色四ツ穴釦15mm）。

袖から3cm入った位置をミシン縫い固定、その間肩章のみクロスステッチをかける。

(4) 後身頃

サイドベンツ下前持ち出し端に、コバステッチをかける。

裏地裾の端、ヘムに止めつける（千鳥がけ）。

(5) 袖

二枚袖、外袖に銀モール（巾12mm）を袖口から9.5cm上に付ける。

左袖の肩先から9.5cm下がった位置にワッペン台座（面ファスナー）を付ける。

(6) 階級章付け

右胸に階級章付けループを付ける。（ループ巾0.9cm、長さ内径1.5cm）

(7) 衿吊

衿の後ろ中心に、巾0.6cm長さ6cmのテープを付ける。

(8) サイズ表示

衿付けの後中心に挟み込む。

(9) 品質表示

左後身頃切替線、裏地に挟み込む。

(10) 片布・NUCラベル

左前身頃裏に付ける。片布は四方ミシンたたき付け、NUCラベルは片布に挟み込み。

使 用 素 材

	表 地 メーカー：日本毛織 品番：3026 EWCF6L	裏 地	芯 地
素材名	エコストレッチサージ	タフタ	布帛接着芯
組織	2 / 2 綾織	平織	平織
混紡率	毛 50% 再生ポリエステル 50% 制電性繊維入り	ポリエステル 100%	ポリエステル 100%
番 手 (縦) (横)	2 / 4 4 (± 2) 2 / 4 4 (± 2)	50D 75D	50D / 36F 加工糸 50D / 36F 加工糸
密 度 (縦) (横)	283 (±10) 本 (10 cm間) 252 (±10) 本 (10 cm間)	110 本 (1 インチ間) 80 本 (1 インチ間)	94 本 (1 インチ間) 80 本 (1 インチ間)
質量 (目付け)	268 (±10) g / m <sup>2</sup>	70 g / m <sup>2</sup> 以上	46 g / m <sup>2</sup> 以上
収縮率 (縦) (横)	±1.5%以下 ±1.5%以下	±2%以下 ±2%以下	±2%以下 ±2%以下
引張強度 (縦) (横)	750N以上 600N以上		
摩擦帯電圧	1500V以下		
伸び率	10%以上		
染色堅牢度	4 級以上	4 級以上	
ピリング	4 - 5 級以上		
色 相 (マンセル)	H (色相) 5、6PB V (明度) 1、7、C (彩度) 1、0、標準色に対して色差 (ΔE) 0.5 以下 (指定色・ 濃紺)	表地同系色	黒
巾	153 cm 標準	122 cm 標準	92 cm 標準
	以上の規格、またはこれに準ずるもの		
場 所		総裏	前身頃、見返し、衿、 裾、フラップ、ポケ ット口、肩章、ベン ツ

別表〔1〕

	釦・ホック	糸		
		地 縫 糸	ステッチ糸	ボタン付け糸
品質	真鍮	ポリエステル 100%	ポリエステル 100%	ポリエステル 100%
色	シルバー (マーク入り)	表地同色	表地同色	表地同色
大きさ・太さ	21mm 4個	# 5 0	# 5 0	# 3 0
針目		3 cm 間 13 針±1	3 cm 間 13 針±1	手付

別表〔2〕

ステッチ巾	①コバミシン (端ミシン)、②コバ+0.5cm、③クロスステッチ
ステッチ場所	① 肩章、裏コバ：見返し押さえ・ラベル・衿周囲 ② 左胸ポケット口両端 ③ 肩章の袖側
釦付け場所	前中心 (シルバーボタン)、肩章 (表地同色四つ穴)
その他	<p>NUCラベル、号数表示、片布、品質・洗濯表示・・・各1枚 ワッペン・肩パット (10mm厚さ)・袋布・伸び止テープ・衿綿 ポリエステルボタン15mm (同色四つ穴皿ボタン2個) <u>袖章銀モール</u> (銀糸縞織 巾12mm)</p> <p>縦糸：綿 横糸：ポリエステル (ポリエステルフィルムに銀を蒸着し、細くスリットした糸をレーヨン糸に巻きつけた糸)</p> <p>*再生ポリエステルは、PETボトルのポストコンシューマーウェイスト (使用後に廃棄されたPETボトル製品) を100%再生処理したものである。</p>

## 女性消防団員冬服上衣サイズ表

単位 (c m)

部位 号数	バスト	背肩幅	袖 丈	着 丈
5 S	9 1	3 8	5 4	6 3
7 S	9 4	3 9	5 4	6 3
7 M	9 4	3 9	5 7	6 6
9 S	9 7	4 0	5 4	6 3
○9 M	9 7	4 0	5 7	6 6
1 1 M	1 0 0	4 1	5 7	6 6
1 1 L	1 0 0	4 1	6 0	6 9
1 3 M	1 0 3	4 2	5 7	6 6
1 5 M	1 0 6	4 3	5 7	6 6
1 7 M	1 0 9	4 4	5 7	6 6
1 9 M	1 1 2	4 5	5 7	6 6

○印9 MはNUCパターンによる標準寸法

## 3-② 冬服キュロットスカート

### 1 材 料

#### (1) 生地一般

ア 原糸は、糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなど目立たない良質のものを使用する。

イ 織り上がりは、均整で、織キズ、糸節、汚れ等の品質を損なう欠点がないものとする。

#### (2) 表生地等

別表のとおりとする。

### 2 形 状

総裏、巻きスカート風キュロット。

左脇ファスナー明き、右脇シームポケット、後ろウエストゴム入り。

### 3 縫 製

#### (1) 一般

ア 各部の縫合は、縫目の飛び、はずれがない優良なものとする。

イ 縫代は、各部分に適した十分なものとする。

ウ 糸調子は、縫目が優良で縫い曲がりがないものとする。

エ 縫目数は、次の数値を標準とする。

地縫い運針数 13針／3cm間

飾りステッチ運針数 13針／3cm間

オ 飾りステッチ幅は、特に指定する部分以外はコバステッチ（端ミシン）とする。

《ステッチ箇所 別表〔2〕参照》

カ プレス仕上げは、品質を損なわないようにする。

キ 接着芯を使用する部分は、すべて高压加熱式プレス機を用いて全面接着をする。

ク 布目は、パターン指定通りにする。

### 4 仕 様

#### (1) ウエストベルト

前は幅 25mmの腰帯芯（インベル芯）、後は幅 25mmの平ゴムを入れる。

幅 1cm、長さ 4cmのベルト通し、4本付き。

カギホックとスナップを付ける。

両脇にスカート吊を挟み込む。

#### (2) 前身覆い布

巻きスカート風の覆い布は裏無し、見返しに芯接着、縫代はオーバーロック始末。

右ウエストに外向きのアウトタックを1本入れる。

ウエストから一部身頃にステッチで止め、フラシ部分は裏コバを入れる。

#### (3) 前

ウエスト左右各1本ずつダーツをとる。

左脇ファスナー開き、右シームポケット、ポケット口 1.5cm、両端閉止めする。

袋布は裏地使用、ポケット袋は二度縫い、縫代始末はオーバーロック。

裾で表と裏を、セツパ又は糸ループで止める。

- (4) 後  
ウエスト左右各 1 本ずつダーツをとる。
- (5) サイズ表示・品質表示・NUC ラベル  
左前ウエストに重ねて挟み込む。
- (6) 片布  
右前ウエストに挟み込み。



使用素材

	表 地 メーカー：日本毛織 品番：3026 EWCF6L	裏 地	芯 地
素材名	エコストレッチサージ	タフタ	布帛接着芯
組織	2 / 2 綾織	平織	平織
混紡率	毛 50% 再生ポリエステル 50% 制電性繊維入り	ポリエステル 100%	ポリエステル 100%
番 手(縦) (横)	2 / 4 4 (± 2) 2 / 4 4 (± 2)	50D 75D	50D / 36F 加工糸 50D / 36F 加工糸
密 度(縦) (横)	283 (±10) 本 (10 cm間) 252 (±10) 本 (10 cm間)	110 本 (1 インチ間) 80 本 (1 インチ間)	94 本 (1 インチ間) 80 本 (1 インチ間)
質 量 (目付け)	268 (±10) g / m <sup>2</sup>	70 g / m <sup>2</sup> 以上	46 g / m <sup>2</sup> 以上
収縮率(縦) (横)	±1.5%以下 ±1.5%以下	±2%以下 ±2%以下	±2%以下 ±2%以下
引 張 強 度 (縦) (横)	750N以上 600N以上		
摩擦帯電圧	1500V以下		
伸び率	10%以上		
染色堅牢度	4 級以上	4 級以上	
ピリング	4 - 5 級以上		
色 相 (マンセル)	H (色相) 5、6PB V (明度) 1,7、C (彩度) 1,0、 標準色に対して色差 (ΔE) 0.5 以下 (指定色・濃紺)	表地同系色	黒
巾	153 c m 標準	122 c m 標準	92 c m 標準
	以上の規格、またはこれに準ずるもの		
場 所		総裏	身返し

別表〔1〕

	釦・ホック	糸		
		地 縫 糸	ステッチ糸	ボタン付け糸
品質	カギホック	ポリエステル 100%	ポリエステル 100%	ポリエステル 100%
色	シルバー	表地同色	表地同色	表地同色
大きさ・太さ	1組	#50	#50	#30
針目		3cm間13針±1	3cm間13針±1	2本取り抜き差しで しっかりと

別表〔2〕

ステッチ巾	コバミシン (端ミシン)
ステッチ場所	前覆い布の縫い止まり迄 ・ 覆い布裏コバ見返し押さえ ・ ポケット口 ・ ベルト通し ・ ポケット口袋布押さえ
カギホック付場所	ウエストベルト
その他	NUCラベル、号数表示、片布、品質・洗濯表示・・・各1枚 袋布、インサイドベルト (25mm幅)、ファスナー20cm (25FK)、 ウエストゴムインベル (25mm幅)、スカート吊テープ  *再生ポリエステルは、PETボトルのポストコンシューマーウェイスト (使用後に廃棄されたPETボトル製品) を100%再生処理したものとする。

## 女性消防団員冬服キュロットスカートサイズ表

単位 (c m)

部位 号数	ウエスト	ヒップ	股 上	股 下
5 S	5 8	9 2	2 6.5	2 6
7 S	6 1	9 5	2 7.5	2 6
7 M	6 1	9 5	2 7.5	2 9
9 S	6 4	9 8	2 8.5	2 6
○ 9 M	6 4	9 8	2 8.5	2 9
1 1 M	6 8	1 0 2	2 9.5	2 9
1 1 L	6 8	1 0 2	2 9.5	3 2
1 3 M	7 2	1 0 6	3 0.5	2 9
1 5 M	7 6	1 1 0	3 1.5	2 9
1 7 M	8 0	1 1 4	3 2. 5	2 9
1 9 M	8 4	1 1 8	3 2. 5	2 9

○印9M号はNUCパターンによる標準寸法

### 3-③ 冬服制帽

#### 1 用範囲

この仕様書は女性消防団員用として調達する制帽について規定する。

#### 2 構造の概要

表生地は冬制服と同じ生地とする。

ハイバック型丸帽子。

徽章を前面に付けた女性用帽子。

#### 3 条件

針数

地縫い・飾りステッチ共、8針以上を標準とする。

#### 4 構造

区 分	成 型 及 び 縫 製 要 領
頭	ウールをフェルト状に固め、樹脂加工を行い、木型にて頭の形に成型する。
つば	つば端の周囲を7mm上に折り返してミシンで縫い付ける。
すべり及び あごゴム紐	すべりは内側頭回りにミシンで縫い付ける。ゴム紐を櫛の根元後部に取付ける。
リボン	下端をつば元に密着し前面中央にリボン飾りを付ける。
櫛	内側頭回りの左右中央に取り付ける。
徽章	徽章の中央下端がリボン飾りの上端と接する位置に取付ける。
片布	片布の下部を1cm縫代分だけ長くし、すべり上端の裏側に縫い付ける。

#### 5 寸法

サイズ表

サイズ	S	M	L	LL
頭回り	54cm	56cm	58cm	60cm

#### 6 使用生地 メーカー：日本毛織

品番：3026 EWCF6L

### 3-④ ワンタッチ式ネクタイ

		表 地	芯 地	裏 地
素材名		先染ジャガード ネクタイ地	ネクタイ用芯地	ネクタイ用裏地
組織		緯朱子	平織	平織
懇紡率 (%)		ポリエステル100%(再生ポリエステルを含むこと)	ポリエステル100%(再生ポリエステルを含むこと)	アセテート100%
番手	縦	ポリエステル55dtex	8番(綿番)	83dtex
	横	ポリエステル166dtex	8番(綿番)	111dtex
密度 (本/10cm間)	縦	920本以上	120本以上	425本以上
	横	510本以上	120本以上	302本以上
染色堅牢度(級)		4級以上		
色 柄		紺×クリーム×オレンジ(指定色) 指定レジメンタル柄	白	黒

以上の規格、またはこれに準ずるもの

	糸		
	芯付け	裏付け	カンヌキ
品 質	ナイロン100%又はポリエステル100%	ポリエステル100%	ポリエステル100%
色	表地同系色	裏地同系色	表地同系色
太さ	リバー/ピンポイント 本縫い#30	#60	#30
針目	リバー/ピンポイント 2.5cm間に3針±1 本縫い 2.5cm間に6針±2	本縫い 2.5cm間に11針±2	
その他	ネクタイ用ワンタッチ金具		

### 3-⑤ 冬服ベルト

#### 1 規格

- (1) ナイロン製又は同等以上のもの。
- (2) バックルは中央に消防団章が刻印されており、ローラーバックル式とする。
- (3) 色相は、冬制服キュロットスカートと同系の黒色とする。
- (4) 長さについては、すべて同じ長さ（120cm以上）とする。なお、規格外サイズがある場合は当市係員の指示を受けること。

## 4 女性消防団員夏服仕様書

八尾市

# 女性消防団員夏服仕様書

八尾市において購入する女性消防団員夏服（制帽・ネクタイ・ベルト付）の仕様の細部を次のとおり定める。

## 1 形式

- |               |           |
|---------------|-----------|
| (1) 上衣        | 別添仕様書のとおり |
| (2) キュロットスカート | 別添仕様書のとおり |
| (3) 制帽        | 別添仕様書のとおり |
| (4) ネクタイ      | 別添仕様書のとおり |
| (5) ベルト       | 別添仕様書のとおり |

## 2 証明書の提出

入札時に表生地について、紡績メーカーが発行する原反出荷引受証明を提出すること。

## 3 試作品の提出

調製にあたり、試作品を提出し係員の承認を受けたのち縫製をなすこと。  
尚、縫製上の疑義を生じた場合は速やかに係員と打合せの上、善処すること。

## 4 検収

検収は当市係員が立合の上で行い、場所は指定場所とする。

## 5 納品の保証

検収後であっても生地、縫製上等による不良品は供給業者が全て責任を持って無償で修理又は交換する。

## 6 裁断及び縫製等

- (1) 裁断及び縫製仕上げにあたり洗濯等により著しく収縮変形のない方法を講ずる。
- (2) 針数は地縫い、飾り縫い共、1cm間5針以上とする。
- (3) 釦穴はハトメ機械門穴とする。
- (4) 縫い糸は 表縫い糸（絹又はテトロン糸50番）穴カガリ糸（絹又はテトロン糸）ボタン付糸（8番）地縫（綿50番）
- (5) 裁断各部分共、逆毛裁、襟以外の個所の斜裁及びハギは認めない。
- (6) 仕上は糸くずを取り丁寧にプレスすること。
- (7) ミシンの調子は上糸、下糸共ツレ・タルミのないこと。

## 7 その他

- (1) 納入時は、上記1形式一式を1つの袋又は段ボールに入れ、それぞれに分団名・階級・氏名を明記すること。



- (2) 供給業者は、本仕様に明記されていない事項についても、見本のとおりとし、当然必要と認められる場合は紳士既製服の縫製によること。
- (3) 当活動服の製作に要する費用は、契約した契約額のとおりとし、追加支出は一切認めない。

## 4-① 夏服上衣

### 1 制式

#### (1) 型式

上衣 カッター襟型肩章付き、長袖（カフス式）・左右胸ポケット雨蓋付き（釦止め）。

#### (2) 使用生地材料（上衣）

ア 素材： 東レ サマーリーン <PC631>  
イ 混紡率： ポリエステル 72% 綿 15%  
ナイロン（抗菌防臭繊維）13%  
ウ 色相： C# 2（淡青色）

### 2 縫製条件

#### (1) 針数

3cm間で地縫いは、12針以上、飾り縫いは12針以上、オーバーロックは8針以上とする。

#### (2) 穴かがり

上衣は平穴、下衣は鳩目穴小門止めとする。

#### (3) ボタン付け

機械付け又は、手付けとする。手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻きは3回以上とする。

#### (4) 裁縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。縫い糸はテトロン糸を使用すること。

また、糸始末を丁寧に行うこと。

### 3 縫製

#### (1) 上衣

##### ア 主襟

襟にはテトロン芯を入れ、襟巾は背中央で4.0cm（襟台巾3.5cm）襟先巾7cmとする。

##### イ 身頃

前身のハギは認めない。

##### ウ 襟吊

襟吊は所定のを襟付け中央にはさみ縫付とする。

##### エ 胸ポケット

胸ポケットは左右2個で雨蓋付きとし、釦止めとする。雨蓋には、芯を入れ、巾中央で高さ6cm（端部で高さ4.5cm）横巾13cmとする。胸ポケットは横巾12cm、深さ14cm、インダーツとする。

##### オ ペン差し

左胸ポケットの雨蓋前端より2cm内側に巾2cmのペン差しをつける。

##### カ 前立て

前立ては表ガク付きとし、釦を6個つける。ガク巾は4cmとする。

キ 背部（ヨーク）

2枚ハギとする。巾は中央部で7cm（ALサイズ）とし、表一条飾りミシン縫いとする。  
（1枚は不可）

ク 肩縫い

片倒しくるみ縫いとする。

ケ 脇縫い

本縫し更にオーバーロックをかける。（インターロックミシン可）

コ 袖縫い

袖の縫合せは本縫し、更にオーバーロックをかける。（インターロックミシン可）

サ 袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかけること。（インターロックミシン可）

シ 袖口

長袖はノボリ付きとし、カフス巾6cm、のぼりの高さ15cmとする。開き12cmとし、ボタンはカフスに2個、ノボリに1個取り付ける。

ス 片布

上前胸ポケット裏面中央に所属・名前等を記入できる片布を縫付け、その下に品質表示を縫付ける。

セ サイズネーム

襟付中央の下線に、はさみ縫い付ける。

ソ 階級章台

下前身頃雨蓋付根、中央上部1.5cm上に、縦3.0cm横4.0cmの面ファスナーを四方縫い付ける。

タ 肩章

巾は4.5cmとし、端を袖付けの縫目に縫込み、クロスステッチを入れる。肩章の先は襟付根部とし、ボタンで止める。

チ 裾折返し

裾は三ツ巻き縫いとして、ワイシャツ式とする。

ツ エンブレム台

左袖に袖付けより約8cm下に指定の型のエンブレム用面ファスナーを縫い付ける。

#### 4 その他

- (1) 使用生地、付属品等は当市係員に提出し、検査を受け許可を受けた後使用のこと。
- (2) 採寸は、別紙寸法の着せ付け寸法とし、合わない者は別寸とし、採寸にあつては、当市の指定期日・場所に、契約者が採寸用上衣、キュロットスカートを持参し採寸する。
- (3) 本仕様書の疑義については、当市係員の指示解釈によるものとする。

女性消防団員夏服上衣サイズ表

(単位：c m)

	ネック	着丈	肩巾	袖丈	胸回
7号	35	70	43	54	93
9号	36	70	44	55	97
11号	37	72	45	56	101
13号	38	74	46	57	105
15号	39	75	47	57	111
17号	39	76	48	58	117

## 4-② 夏服キュロットスカート

### 1 構造

切り替えポケット両脇ゴム入、ベルト通しあり、左脇ポケット、キュロット型。

### 2 材料

表地 東レ FT2020 C/# TMA200(濃紺)

再生ポリエステル 55% ポリエステル 10%

レーヨン 25% ナイロン(抗菌防臭繊維) 10%

### 3 縫製条件

- (1) インサイドベルトは3cm巾とし、両脇に同寸の平ゴムを付ける。平ゴムは前身頃ポケット口。後身頃外側ダーツ迄とする。
- (2) 右側サイドポケットは、セットポケットとし袋布は裏地を使用する。ポケット口は16cmとする。
- (3) ダーツは前4本、後4本とし、左側で接ぎ18cmファスナーを付ける。
- (4) 左側上部ベルト位置で三段尾錠で止める。
- (5) 裾へムは5cmとし、ロックルイスする。
- (6) 前身頃はラップ式とする。

女性消防団員夏服キュロットスカートサイズ表

(単位：cm)

	W	H上り	丈
7号	60	93	56
9号	63	96	57
11号	66	99	57
13号	69	102	58
15号	72	105	58
17号	75	108	59

## 4-③ 夏服制帽

### 1 材 料

区 分	仕 様	用 途
表生地	東レFT2020 C/＃ 200濃紺 トロピカル 導電性繊維混入 再生ポリエステル 55% ポリエステル 10% レーヨン 25% ナイロン 10%	
裏生地	ベンベルグ裏地 キュプラ又は同等品以上	帽子裏
備革	3cm幅備革 ポリエステル 100% (不織布いり)	帽子裏面
芯地	ダック芯 (麻) 麻 100%	帽子前面
ゴムひも	黒丸ゴム	あごひも
リボン	旭化成8300 アクリル100% 38MM幅 色黒	
帽章	生地台 (黒) モール製 真ちゅう製消防章付 (見本のとおり)	帽章

### 2 縫製要領

- (1) 頭は、木型にて頭の形に成形する。
- (2) つばは端の周囲を約7mm折り返してミシンで縫いつける。
- (3) すべては内側頭周りに折り返してミシンで縫いつける。
- (4) リボンは下端をつば元に密着させる。
- (5) 両サイドに丸ゴム (黒) を取り付ける。(あごひも)
- (6) 消防団の帽章を前面中央にまつりつける。

### 3 その他

- (1) 片布  
下図の片布を当本部指定の位置に取り付けること。
- (2) その他  
仕上げは糸屑を取り、丁寧にプレスする。

## 女性消防団員夏服制帽サイズ表

LL	60cm
L	58cm
M	56cm
S	54cm

## 4-④ ネクタイ

### 1 形式

裏付ワンタッチネクタイとする。

### 2 品番

NS 8002-5

### 3 裁断

表地及び芯地とも正バイアスとする。

### 4 形状

(1) 長さ 35 cm

(2) 前先巾 8 cm

(3) 後先巾 4 cm

### 5 生地

(1) 素材 ポリエステル 100%

(2) 織 陣目織

### 6 芯地

(1) 品名 ポリエステル芯

(2) 素材 ポリエステル 100%

### 7 色

ベースはオレンジ色で紺色とシルバーのストライプ入りとする。

デザインは男性用と同じ。

## 4－⑤ 夏服ベルト

### 1 規格

- (1) ナイロン製又は同等以上のもの。
- (2) バックルは中央に消防団章が刻印されており、ローラーバックル式とする。
- (3) 色相は、夏制服キュロットスカートと同系の類似色。
- (4) 長さについては、すべて同じ長さ（120cm以上）とする。なお、規格外サイズがある場合は当市係員の指示を受けること。



## 5 消防団員活動服仕様書

八尾市消防団

# 消防団員活動服仕様書

八尾市において購入する消防団員活動服の仕様の細部を次のとおり定める。

## 1 形式

上衣・ズボン 別添仕様書のとおり

## 2 その他

- (1) 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した契約額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1着毎にプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、消防団名簿に基づき、分団毎にまとめて納品すること。
- (5) 証明書の提出については、入札者は入札時に使用生地についての紡績メーカーが発行した品質並びに原反出荷引受証明書を提出すること。
- (6) 契約業者は早急に承認見本品を提出し、当市係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を契約者の解釈にて勝手に変更してはならない。  
本生産は見本承認後かかるものとする。
- (7) この仕様書に疑義を生じたときは、当市係員の指示を受けなければならない。
- (8) 採寸については、サイズ表によることとし、各人によりサイズを決定するものとする。
- (9) 製品の上衣・ズボンに品質表示・SWラベル・防災ラベルをつけること。  
プリント等の表示類の詳細については、担当者と協議の上、進行することとする。
- (10) サイズ表に基づいたサイズに対応することとし、採寸ゲージを用意すること。
- (11) 検収後に生地、付属品及び寸法等縫製上の欠陥等が認められた場合には、受注者の責任とし、速やかに無償で修理又は交換すること。また仕様書に記載がない事項にも良心的に対処すること。
- (12) 入札後同年度内に追加発注のあった場合は同一価格にて納入することとする。

## 3. 型紙・SWラベル・防災ラベル

落札者は、製造にかかわる型紙（製造メーカー調達品）と（公財）日本消防協会推奨の（公財）日本ユニフォームセンターからSWラベル、（公財）日本防災協会から防災ラベルを調達し、活動服上下に各々必ず縫い付けることとする。

## 5 活動服 上衣・ズボン（男性・女性）

### 1 型式

#### (1) 上衣（男性）

体型を追求し着用感を重視した立体裁断を用いての縫製とする。台衿付きシャツカラー、左上前身頃および袖配色切替、前比翼ファスナーあき（前端面ファスナー止めおよび台衿部のみ釦開き）、左右胸フラップ付きアウトポケット（面ファスナー止め）、左袖ペンポケット、右胸階級章/左胸所属名用面ファスナー凹付き、袖口は水かき仕様のファスナー付、肩章（釦止め）、左胸雨ブタにはペン差しを開け中には手帳吊紐を挟み込む。背ヨークに指定ロゴ反射プリント（別紙1）を入れる。

#### (2) ズボン（男性）

従来ズボンから作業上の運動量を増やす為マチ布を用いた縫製とする。ワンタック・アジャスター・裾口シングル・前身両脇ポケット・後身両ピスポケット左側雨蓋付きボタン止め。  
左右カーゴポケットはフラップ付き・アコーディオン式。カーゴポケットフラップは配色生地。  
脇ポケットに指定ロゴ反射プリント（別紙1）を入れる。

#### (3) 上衣（女性）

体型を追求し着用感を重視した立体裁断を用いての縫製とする。台衿付きシャツカラー、右上前身頃、および袖配色切替、前比翼ファスナーあき（前端面ファスナー止めおよび台衿部のみ釦開き）、左右胸フラップ付きアウトポケット（面ファスナー止め）、左袖ペンポケット、右胸階級章用/左胸所属名用面ファスナー凹付き、袖口は水かき仕様のファスナー付、肩章（釦止め）、左胸雨ブタにはペン差しを開け中には手帳吊紐を挟み込む。背ヨークに指定ロゴ反射プリントを入れる。

#### (4) ズボン（女性）

従来ズボンから作業上の運動量を増やす為マチ布を用いた縫製とする。ノータック・後側はゴム入り、裾口シングル・前身両脇ポケット・後身両ピスポケット左側雨蓋付きボタン止め。  
左右カーゴポケットはフラップ付き・アコーディオン式。カーゴポケットフラップは配色生地。  
脇ポケットに指定ロゴ反射プリントを入れる。

### 2 生地材料

#### (1) 生地及び色相

帝国繊維製 TSVS-4009（ブルー） TSVS-4010（オレンジ）

本体ブルー 配色オレンジ

色相（H） 2.9PB 0.5YR

明度（V） 2.5 5.4

彩度（C） 3.9 11.5

デルタ（E） 0.6以内 0.6以内

※経年劣化＝脆化の原因となるポリウレタンを用いない処方とする。

(2) 混紡率

アクリル系 60% (±5%)

ビニロン 20% (±5%)

ポリエステル 20% (±5%)

(3) 糸番手

タテ・ヨコ 30/2S (見掛番手)

(4) 組織

平織

(5) 密度

経60以上 緯50以上 (本/2.54cm)

(6) 重量

210g/m<sup>2</sup>以上 225g/m<sup>2</sup>未満

(7) 引張強力

経750N以上 緯650N以上

(8) 引裂強力

経20N以上 緯20N以上

(9) 寸法変化率

経1.0%以内 緯1.0%以内

(10) 燃焼性

残炎時間 1秒以下

余じん時間 5秒以下

炭化距離 1.1cm以下

(11) 帯電電荷量

7μc/m<sup>2</sup>未満

(12) 染色堅牢度

洗濯 4級以上 汗 4級以上 摩擦(乾) 4級以上

(13) 限界酸素指数

30以上

### 3 縫製条件

#### (1) 針数

3 cm間で地縫は1 1針以上、飾りは1 3針以上、オーバロックは8針以上とする。

#### (2) 穴かがり

上衣はネムリ穴とする。上衣の衿肩章は横穴とする。ズボンはハトメ穴で天狗持ち出しは横穴とする。

#### (3) 釦付

機械付け又は手付けとする。手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻は3回以上とする。

#### (4) 裁縫

糸調子は上下ともツレ、タルミの無いようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテトロン糸を使用のこと。

### 4 縫製要領

#### (1) 上衣 (男性・女性)

##### ①主衿

テトロン芯を入れ、衿巾は中央で約8.0cm (衿巾台 約3.5cm) 衿先巾約8.0cmとする。

##### ②衿吊り

衿吊りは、所定のものを衿付け中央にはさみ縫い付けとする。

##### ③身頃

前身はバストラインで縫い合わせ、バストライン下の上部分オレンジ配色で下部分本体生地とする。  
後見はヨーク切り替えとし、ヨーク下の上部分はオレンジ配色で下部分は本体生地とする。

##### ④胸ポケット

胸ポケットは左右2ヶで雨蓋付きとし、雨蓋中央に約2.5cm×5.0cmのマジックテープを取り付ける。  
左雨蓋前立て寄りに手帳吊りループを設ける。

口巾約 14.5cm 深さ中心側 約16cm と、SWラベル認可同様、底辺約3cm上がりで配色生地・主生地を切り替える。

##### ⑤前立て

前立ては約3.5cm幅でファスナー合わせとし、約1.6cm×4.0cmのマジックテープを3か所に取り付ける。

##### ⑥肩縫

片倒しインターロックミシン縫いとする。

##### ⑦脇身頃

2枚ハギで中胴の位置で地縫いし、インターロックミシン縫い0.6cmの飾りステッチをかける。

##### ⑧袖縫

袖は3枚ハギとしインターロックミシン縫いとし約0.6cmの飾りステッチをかける。

脇ぐり袖に関してSWラベル認可同様、液体物・異物の侵入安全上ベンチレーションは設けない。

また脇線縫いのアームホール付け袖は運動性能上立体とみなさない。

⑨袖付縫

インターロックミシン縫いとする。

⑩長袖口

開き止まり部分よりカフス付け根までの水かき式としカフスは約6cmとする。

カフス廻りは表一条飾りミシン縫いとする。

⑪片布

上前裾裏に縫い付ける。

⑫品質表示

左脇裏に挟み込む。

⑬サイズネーム

衿吊り横にはさみ縫付けとする。

⑭階級章台座

右前身頃雨蓋付根中央上部に、タテ約 3.0cm、ヨコ約 4.5cmのマジックテープ(メス)を四方縫いする。

⑮所属名ワッペン及び所属名台座

タテ約 4.0cm、ヨコ約 10.0cmの共生地に、上段「八尾市消防団」下段「各所属・個人名」を刺繍し、裏面にタテ約 4.0cm、ヨコ約 10.0cmのマジックテープ(オス)を〇〇縫いする。(別紙2 参照)

左前身頃雨蓋付根中央上部に、タテ約 4.0cm、ヨコ約 10.0cmのマジックテープ(メス)を四方縫いする。

⑯肩章

幅は 約4.5cmとし、端を袖つけの縫い目に縫い込む。

⑰ペン差し

左袖上部配色部に2本差しのペン差しを取り付ける。

⑱背文字

背ヨーク上部に反射プリントを施す。(別紙1参照)なお、プリントする文字についてはあらかじめレイアウトが終わった段階で当市係員の検査を受けること。

⑲裾折返し

裾は三ツ折りとする。

(2)ズボン(男性・女性)

①ワンタック、アジャスター仕様(ゴムアジャスター仕様不可)とする。

②腰帯

前帯端に前カンを取り付け、帯幅4.0cm仕上り寸法とし、織物芯地をいれる。

裏はスベリ止め付マーベルト仕様とする。

③バンド通し

後ろ中央に巾約6.0cm、前後、脇に巾約3.0cm、長さ約6.5cmのループを7本取り付ける。

④脇箱ポケット

箱型2方マチポケットとし口巾17.0cm以上深さ20.0cm、上部に雨蓋を取り付ける。

ポケットとは約2.5cm×7.0cmのマジック止めとする。雨蓋裏表はオレンジ配色とする。

ポケット部に反射プリントを施す。（別紙1参照）なお、プリントする文字についてはあらかじめレイアウトが終わった段階で当市係員の検査を受けること。

⑤尻ポケット

左右ピスポケットとし、左側ポケットは雨蓋付きボタン止めとする。

⑥天狗

持ち出し天狗に鳩目穴を一箇所開け、廻り表一条飾りミシン縫いとする。

⑦相引き、内また、尻縫い

断目はオーバーロック掛けし、二重縫い、又は環縫いミシン掛け、割り縫いとする。

股下前後に菱形のマチ（ストレッチ地の目）を地縫いし、ステッチを掛ける。（※パンク防止必須）

⑧裾

裾は三ツ折りとする。

⑨片布

左脇ポケット袋布に縫い付ける。

⑩穴かがり

機械穴、鳩目穴とする。

(3) 上衣・ズボン（女性）

絵図面に倣い、（公益財団法人）日本ユニフォームセンター監修の人間工学に基づくデザインを採用し、女性のボディーラインに沿った縫製をする。

4 納入

入念な仕上げを行い、1着毎に整理し、袋入りとし、所属・氏名・サイズを明記のうえ、所属毎に梱包し指定場所へ納入すること。

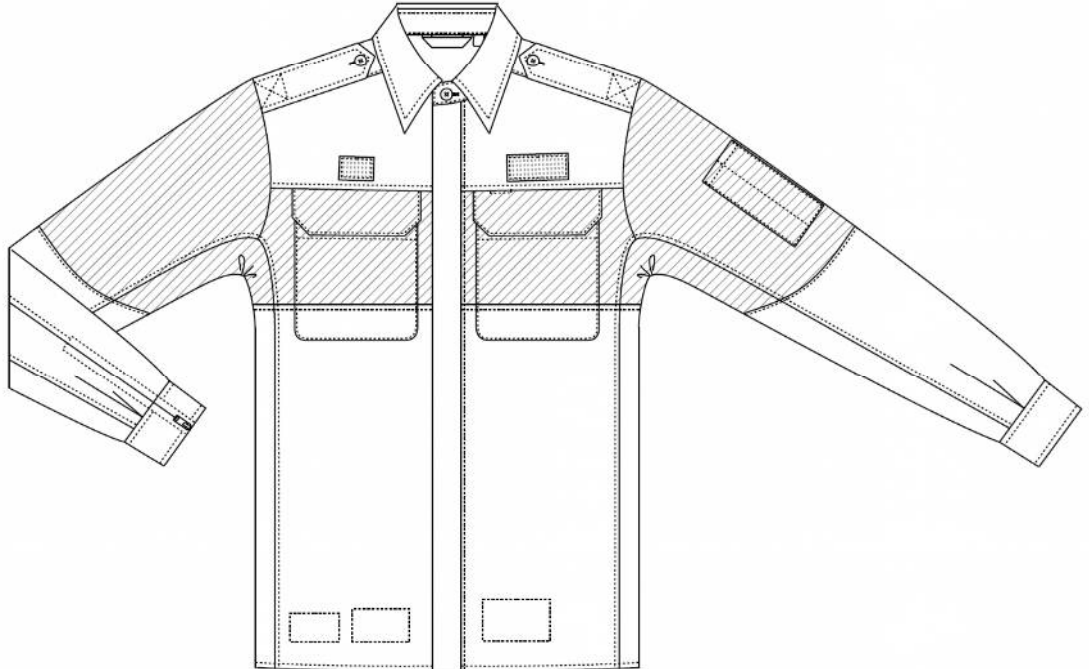
5 その他

(1) 使用生地、付属品等は当市係員に提出し、検査を受け許可を受けた後使用のこと。

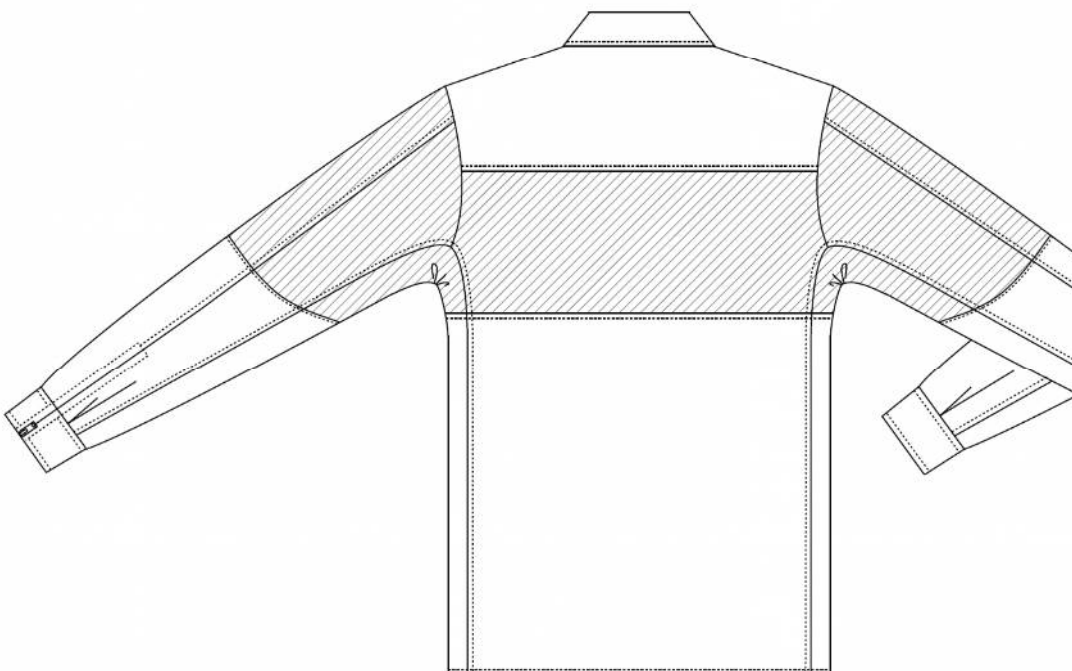
(2) 採寸は、別紙寸法の着せ付け寸法とし、合わない者は別寸とし、採寸にあっては、当市の指定期日までに、採寸用上衣、ズボンを納入、採寸し、別寸の場合は、当市の指定日・指定場所に契約者係員が出向き採寸を行う。

消防団 活動服 上衣 (男性用)

前面図



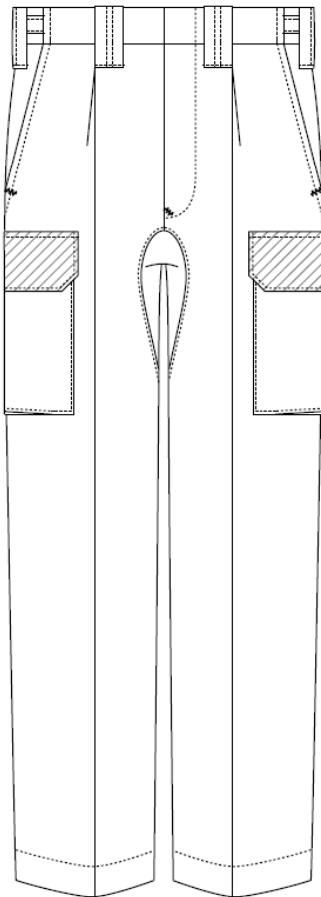
後面図



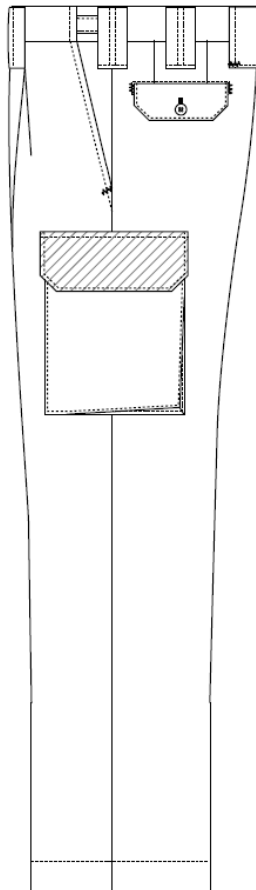


消防団 活動服 ズボン (男性用)

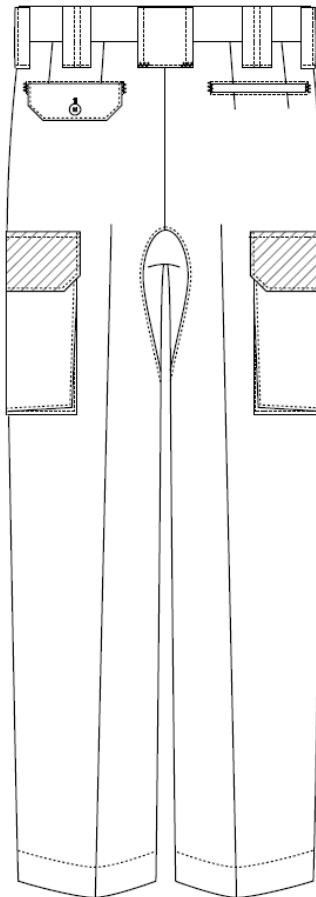
前面図



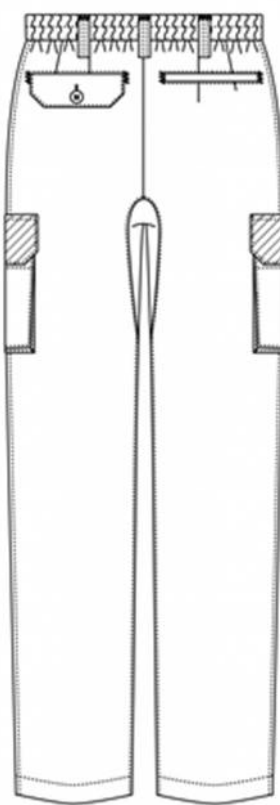
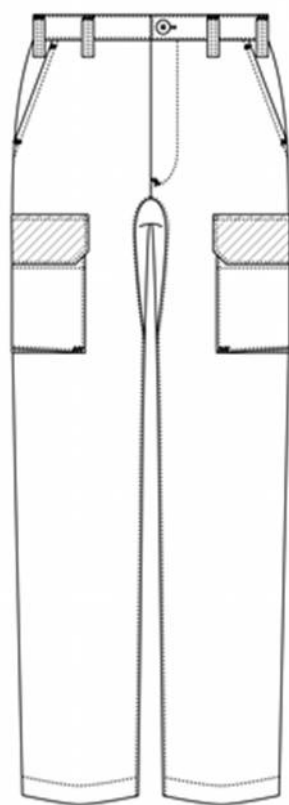
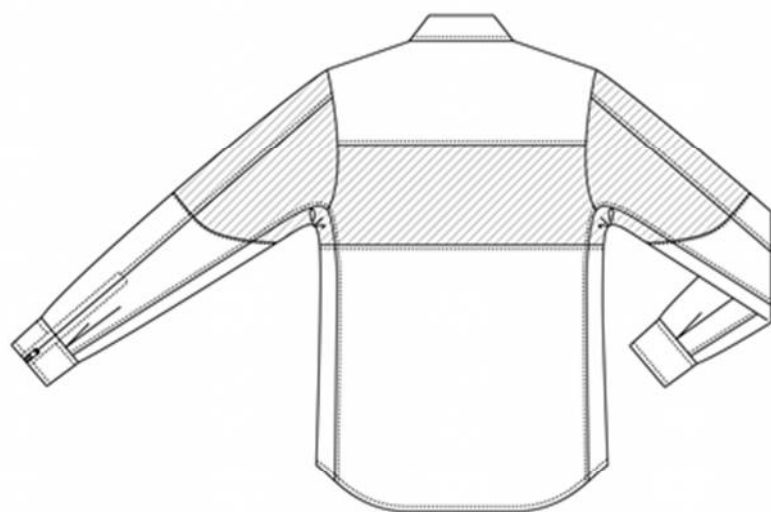
側面図



後面図



消防団 活動服 上下 (女性用)



サイズ  
上衣

(単位：cm)

サイズ	胸囲	肩幅	衿丈	着丈	首囲
SA	100	46	80	76	39
SB	108	47	80	76	40
MA	108	47	82	78	41
MB	116	48	82	78	42
LA	116	48	84	80	43
LB	124	49	86	80	44
LE	132	50	86	80	45
LLE	140	51	86	80	46
3LE	148	52	86	80	47
4LE	156	54	86	80	49

下衣

(単位：cm)

サイズ	ウエスト	ヒップ	股上
73	69～77	98	25.5
76	72～80	101	26
79	75～83	104	26.5
82	78～86	107	27
85	81～89	110	27.5
88	84～92	113	28
91	87～95	116	28.5
94	90～98	119	29
99	95～103	124	29.5
104	100～108	129	30
110	106～114	135	30.5
115	111～119	140	31
120	116～124	145	31.5
125	121～129	150	32
130	126～134	155	32.5

サイズ (女性)  
上衣

(単位：cm)

サイズ	胸回り	肩幅	袖丈	着丈
S	91	39	57	69
*M	98	40		
L	105	41		
LL	112	42		
3L	119	43		

- ・サイズ\*M号はNUCマスターパターン寸法 (許容差 +2.0cm~-1.0cm)

ズボン

(単位：cm)

サイズ	ウエスト	股上
S	60	25
*M	66	25.5
L	71	26
LL	79	27
3L	87	28
4L	95	29

- ・サイズ\*M号はNUCマスターパターン寸法 (許容差+2.0cm~-1.0cm)
- ・ウエスト寸法はゴムを縮めた仕上がり寸法です。  
ややローウエストの股上仕様のため、やや大きめのウエストサイズになっています。

## 指定ロゴ転写プリント

※各部位の寸法は標準寸法とする。

## 消防団活動服 プリント (再帰反射性)

部位	上衣 背中(肩ヨーク部分)
素材	有害物質を含まない水性顔料及び樹脂を使用した積層品とすること。
色	文字色：シルバー（再帰反射性）
物性	堅牢度：各項目4級以上
プリント文字	日本語・英語表記
寸法 (別途協議) 文字ロゴ	<b>VOLUNTEER FIRE CORPS</b>  <b>八尾市消防団</b>
その他	使用フォントについては上衣・ズボンで統一すること。

部位	ズボン 脇箱ポケット(ポケット部分)
素材	有害物質を含まない水性顔料及び樹脂を使用した積層品とすること。
色	文字色：シルバー（再帰反射性）
物性	堅牢度：各項目4級以上
プリント文字	日本語表記
寸法 (別途協議) 文字ロゴ	<b>八尾市消防団</b>
その他	使用フォントについては上衣・ズボンで統一すること。

## 所属名ワッペン（刺繍）

素材	帝国繊維製 TSVS-4009（ブルー）
刺繍糸	Cupie(キューピー)製 C/#442(オレンジ)
刺繍文字	日本語表記
寸法 (別途協議) 文字ロゴ	上段 八尾市消防団 下段 ○○分団 個人名
その他	使用フォントについては当市係員と調整のうえ決定すること。

※参考資料

(左胸)所属名ワッペン



## 6 消防団員活動服ベルト仕様書

八尾市消防団

## 消防団員活動服ベルト仕様書

この仕様書は、八尾市消防団員が着用する活動服ベルトについて定めるものとする。

### 1 規格

(1)素 材 ナイロン100% (二重織)

(2)帯 巾 38mm

(3)帯 厚 2.5mm

(4)帯 色 オレンジ

(5)反 射 材 再帰性反射布1mm巾×6本織り込み

(6)帯先高周波 半丸カット

(7)鳩 目 7個×2 (NO. 18アイレット)

素 材：真鍮

メッキ：ニッケル

(8)バックル 2本止め 先ローラー付

素 材：鉄

メッキ：ニッケル

太 さ：バックル直径5mmピン直径3.5mm

(9)サルカン 1.5×15mm

ナイロン100% (帯同色系)

(10)特別仕様 バックル部 取り外し不可 4ヶ所カシメ打ち

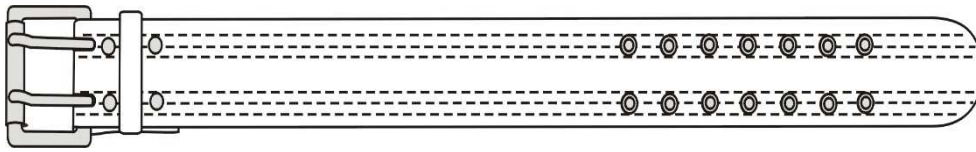
カシメ：大カシメ8.5足

素 材：鉄

メッキ：ニッケル



(1)サイズ 90cm 100cm 110cm 120cm



## 2 その他

- (1) 当活動服ベルトの製作に要する費用は、当初に契約した契約額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとする。
- (3) 契約業者は早急に承認見本品を提出し、当市係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を契約者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (4) この仕様書に疑義を生じたときは、当市係員の指示を受けなければならない。
- (5) 検収後に生地、付属品及び寸法等縫製上の欠陥等が認められた場合には、受注者の責任とし、速やかに無償で修理又は交換すること。また仕様書に記載がない事項にも良心的に対処すること。
- (6) 入札後同年度内に追加発注のあった場合は同一価格にて納入することとする。

## 7 消防団員アポロキヤップ仕様書

八尾市消防団

## 消防団員アポロキャップ仕様書

この仕様書は、八尾市消防団員が着用するアポロキャップについて定めるものとする。

### 1 形式

アポロキャップ型、正面及び左側面に指定刺繍縫い付け。

### 2 その他

- (1) 当アポロキャップの製作に要する費用は、当初に契約した契約額のおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ(ヨリ)ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 契約業者は早急に承認見本品を提出し、当市係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を契約者の解釈にて勝手に変更してはならない。  
本生産は見本承認後かかるものとする。
- (5) この仕様書に疑義を生じたときは、当市係員の指示を受けなければならない。
- (6) 採寸については、サイズ表によることとし、各人によりサイズを決定するものとする。
- (7) 検収後に生地、付属品及び寸法等縫製上の欠陥等が認められた場合には、受注者の責任とし、速やかに無償で修理又は交換すること。また仕様書に記載がない事項にも良心的に対処すること。

(8) 入札後同年度内に追加発注のあった場合は同一価格にて納入することとする。

### 3 使用生地

生地は東レフィールドセンサーT474（12/濃紺）当市指定色とする。

生地の規格（表1）

項目		規格	
混紡率		ポリエステル 100%	
見掛番手		75×50	
組織		経編み	
重量		150g/m <sup>2</sup> 以上～160g/m <sup>2</sup> 以下	
収縮率		タテ ヨコ ±0.5%以内	
引張強さ (N/5cm)		タテ	400以上
		ヨコ	250以上
染色堅牢度	耐光	変退色	4級以上
	洗濯	変退色	4級以上
		汚染	4級以上
	摩擦	乾燥	4級以上
色相		12/濃紺	

### 4 裁断

サイズ表（表2）に指定する寸法に仕上がるように裁断する。

裁断は、布目を正しく合わせて行うものとし、特に指定するもののほかは横地、斜地に裁断してはならない。

## 5 縫製

### (1) 頭部

前立て刺繍部分と6つはぎレンゲを縫い合わせ、全てテープ（テトロン黒）にて伏せ縫いする。天井にくるみ釦を付ける。レンゲ6面に同色の天穴（9mm）かがりを施す。

### (2) 調節紐

後方に縦幅約15mmのベルトを本体と共生地で作り、アジャスターの一方を取り付け、一方を帽子本体に取り付ける。

### (3) 庇

表裏共に共生地で庇芯（黒ポリエチレン2.5mm厚芯）を包む。その際庇サントでオレンジパイピング（TCブロード オレンジ）を挟み縫い付ける。

金糸にて月桂樹を刺繍する。（別紙1）

### (4) スベリ

幅約40mmのフィールドセンサーT474を使用し、裏側にはデオドラントテープ（消臭抗菌素材）を使用する。

### (5) 前立て

当市オリジナル刺繍を施す。（別紙1）。

前立て裏の黒ナイロンメッシュは不必要とし、前立て裏と庇の縫い合わせは内ぐりパイピング加工を施す。

### (6) 側面

左側面に当市オリジナル刺繍を施す。（別紙2）。

### (7) 片布

白色とし、スベリの裏側（着帽して左側）に挟み縫い付ける。

### (8) 静電気除去仕様

スベリに片布を縫い付ける際に約30mmの放電テープを同時に縫い付ける。

## 6 サイズ表

仕上がり寸法（表2）

サイズ	許容範囲	公差
S	54cm～56cm	±0.5cm
M	56cm～58cm	±0.5cm
L	58cm～60cm	±0.5cm
LL	60cm～62cm	±0.5cm
3L	61cm～63cm	±0.5cm

\*上記に記載のないサイズについては別途指示する。



正面 平刺繡  
W 136mm  
H 65mm



刺繍色全3色  
■ オレンジ  
■ 金糸  
■ 銀糸

左横 平刺繍  
W 70mm  
H 11mm

刺繍糸

オレンジ パールヨット C/#1333(オレンジ)

金 エンゼルキング 金糸

銀 エンゼルキング 銀糸



## 8 保安帽仕様書

八尾市

1 この仕様書は、八尾市（以下「当市」という）が購入する保安帽（消防団員用）について規定する。

## 2 規格

別表の規格を準拠し、飛来・落下・墜落・絶縁の全ての性能を満足するもので、日本工業規格表示認定工場で製造されたものとする。

労働省告示第39号改正（平成3年6月5日）	保護帽規格
日本工業規格 T-8131	産業用安全帽

## 3 仕様

### (1) 商品名

スターライト販売(株)製 レンジャー0型ヘルメットとする。

### (2) 形状

保安帽の形状は別紙の通りとする。

### (3) 構造

帽体・衝撃吸収ライナー・ハンモック・ヘッドバンド及び、帽体取付けあご紐からなり、後部で頭部のサイズに合わせて調整ができ、着用者の頭部を保護する構造とする。

部品については、別表1の通りとする。

### (4) ラベル等

帽体内面には労働安全衛生法『保護帽の規格』の検定合格ラベル、及び日本工業規格 T-8131 許可証を貼り付ける。

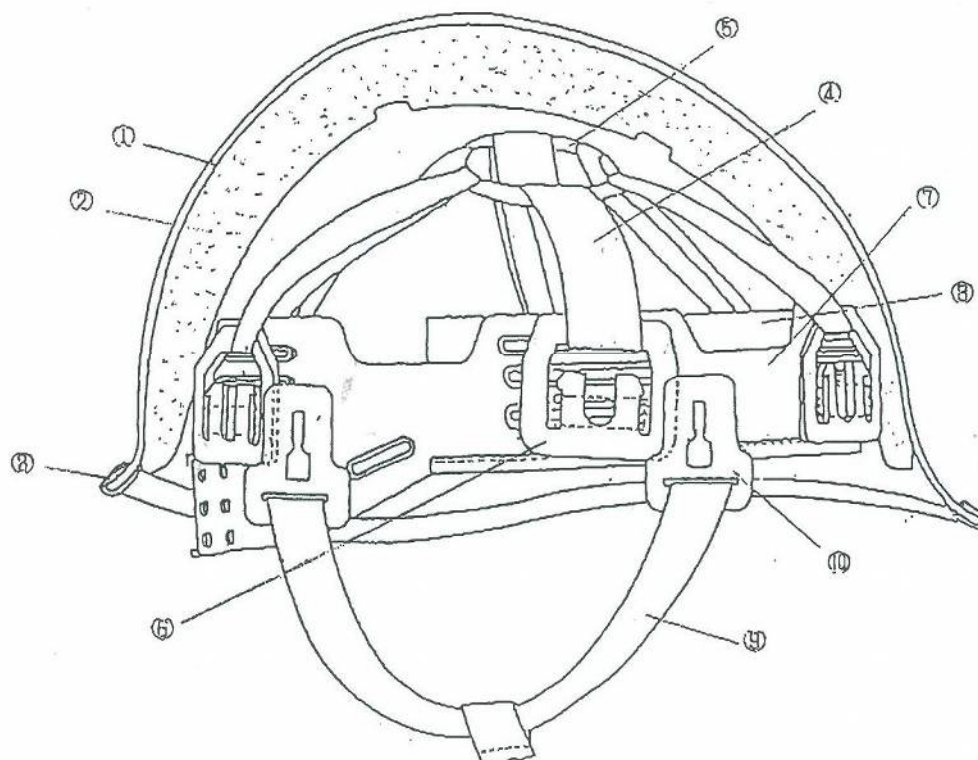
### (5) 徽章・消防団名表示・階級線

前部中央に消防団徽章(スコッチマーク大)を貼付ける。着帽左右に「八尾市消防団」と左→右読みの文字入れを行うこと。周囲に当市か指定する幅の赤色スコッチテープを貼り付ける。

## 4 その他

仕様については不明な場合は、当市担当課に確認し指示を受けることとする。

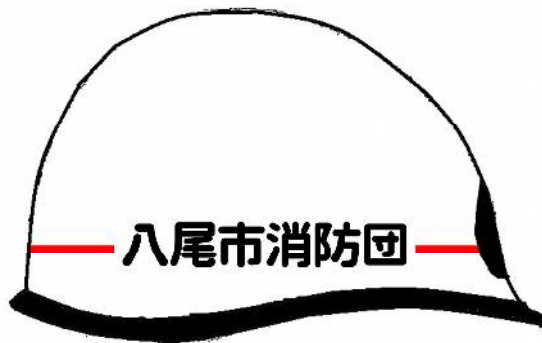
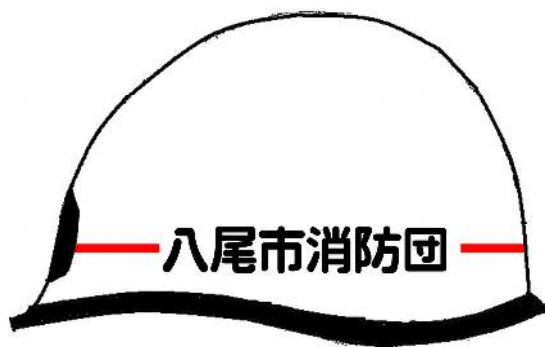
## 構成図



別表 1

番号	名称	材料	数量	備考
①	帽体	ポリカーボネイト樹脂	1	
②	衝撃吸収ライナー	発泡スチロール	1	
③	縁巻きゴム	合成ゴム	1	黒色
④	ハンモック	合成繊維 灰色平織テープ	6	巾 20mm 指定色
⑤	ハンモック固定ひも	合成繊維 灰色平織テープ	1	指定色
⑥	ハンモック取付け具	ポリエチレン成型品	6	
⑦	ヘッドバンド	ポリエチレン成型品	1	
⑧	汗止め	ナイロン不織布	1	
⑨	あごひも	合成繊維 黒色平織テープ	1	巾 18mm
⑩	あご紐取付け具	合成樹脂成型品	4	
	前章	スコッチマーク団 大	1	
	階級線	赤反射テープ		当市が指示する

## 概要図



## 9 雨衣仕様書

八尾市

## 1 材料

表地		ポリエステル 100%
	加工	ポリウレタンコーティング
		耐水圧 10000mm以上
		透湿度 2000 g/m <sup>2</sup> -24 h 以上
色相	ネイビー	
裏地	メッシュ	ポリエステル 100%
	色相	ホワイト

## 2 形式

### (1) 上着

襟	立ち襟式
胸部	シルバー反射テープ 5cm幅 2本
前立て	Wフラップ式の2重前立て 逆開式ファスナー
袖口	調整用マジックテープ 腕手首部分に3cm幅の反射テープ各2本
ポケット	左右腰にポケット（マジックテープ付雨蓋装備）
背中	ベンチレーション（2個 ボタン止め） シルバー反射テープ 5cm幅 ※消防本部指定のプリントを反射にて入れる事。 字体・大きさ等は、業者と調整。
裾	ストッパー付ドロコード入り 裾部周りに、シルバー反射 5cm幅を周囲に縫着
フード	着脱式 透明部分を大きく取り、両サイドの視認性を高めている。
裏地	総裏メッシュ

### (2) ズボン

ウエスト	ゴム入り、ストッパー付ドロコード入り
裾	ファスナー開閉式（水切り付）、調整用マジックテープ付 膝下部分にシルバー反射テープ 3cm1本 5cm1本
臀部	1枚生地は無縫製加工
裏地	総裏メッシュ

(3) 付属品

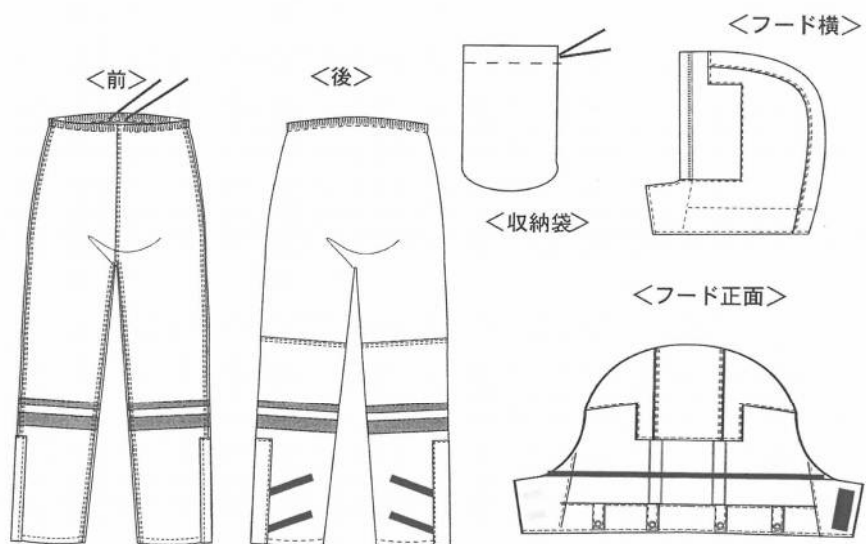
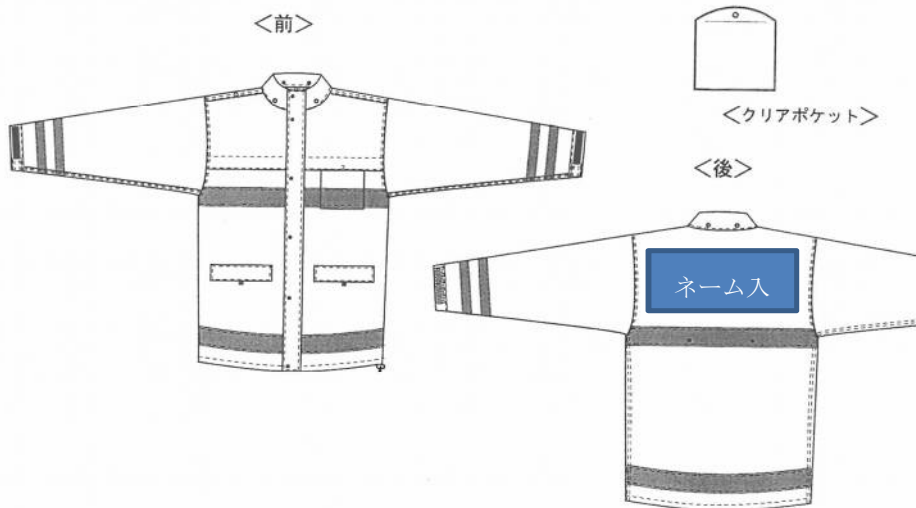
収納袋、クリアポケットケースを付属すること。

3 サイズ寸法表

サイズ	上衣丈	胸囲	衿丈	ズボン丈	股下	ウエスト
S S	69	114	80	100	68	100
S	72	117	82	104	70	103
M	75	120	84	107	72	106
L	78.5	124	86	110	74	112
L L	83	128	88	113	76	118
3 L	87	132	90	116	78	121
4 L	90	136	92	119	80	124
5 L	90	140	94	120	80	127
6 L	92	144	96	121	80	130
7 L	92	148	98	122	80	133
B L	80	144	92	116	78	140
B L L	86	149	95	119	80	150
B E L	92	154	98	122	82	160

(単位：c m)

図案





## 10 静電安全靴仕様書

八尾市

## 1 適用範囲

本仕様書は、人体の静電気帯電が原因として発生する爆発、火災、電撃のような事故及び災害を防止する目的で使用する静電気帯電防止性能を有する安全靴（以下「靴」）について規定する。

## 2 製法及び種類

靴の製法は、直接加硫圧着式製法とし、靴の種類は、JIS T 8103（静電気帯電防止靴）に規定する静電安全靴（AS-P）革製 普通作業靴用（S）とし、付加的性能として、耐踏抜き性（P）、かかと部の衝撃エネルギー吸収性（E）及び耐滑性（F）を有するものとする。

## 3 形式

靴の形式は、外ファスナー付きしも式長編上靴とする。（図－1）

## 4 各部の名称及び主要材料

各部の名称は、図－1、表－5による。

主要材料は以下による。

### (1) 甲被

甲被は、厚さが均等で、傷などの欠点がなく、クロムなめし法により製造し、JIS T 8101 の川の試験方法によって試験したとき、表－1 に適合する牛クロム型押し革を用いる。

表－1

項目		規格
銀面割れ	高さ mm	6.0 以上
	荷重 N	150 以上
クロム含有量	%	3～5.5
厚さ	mm	1.5 以上

### (2) 表底

表底は、滑り止め効果のある形状を有し、JIS T 8101 の表底の試験方法によって試験したとき、表－2 に適合する合成ゴムを用いる。

表－2

項 目		規 格
引張試験	引張強さ MPa	14 以上
	伸び %	300 以上
引裂試験	引裂試験 N/mm	35 以上
老化試験	引張強さの変化 %	－15～＋15
浸せき試験	体積変化率 %	12 以下

(3) 甲縫糸

甲縫糸は、太さ及びより方が均等で、使用目的に適合した合成繊維糸を用いる。

(4) 先しん

先しんは、表面をすべて平滑に仕上げ、へり及び角に丸みをつけた強化樹脂製のものをを用いる。

(5) 中底

中底は、導電性を有し、柔軟性及び吸湿性のある合成材を用いる。

5 構造及びサイズ

(1) 構造

靴は、人体に帯電する静電気を靴底から漏洩させる構造とし、つま先に強化樹脂製先しんを装着し、後部に反射材、履き口部にクッション、内腰部にパッチ革（当て革）及び外腰部に脱ぎ履きが容易なようにファスナーを取り付けた長編上タイプで、表底は熱に強くクッション性に優れた合成ゴム 2 層底で、踏抜防止板を内装し、底意匠は耐滑性、屈撓性、泥詰まり防止を加味したものとする（図－1、2）。

(2) サイズ

靴のサイズは、JIS S 5037（靴のサイズ）に規定数 E E E を準用し、表－3 のとおりとする。

表－3

単位 cm

22	22.5	23	23.5	24	24.5	25	25.5	26	26.5	27	27.5	28	29	30
----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	----	----

6 完成品の性能

(1) 耐衝撃性及び耐圧迫性

靴の対衝撃性及び耐圧迫性は、JIS T 8101 の衝撃試験方法オヨに圧迫試験方法によって試験したとき、表－4 に適合すること。

(2) 表底のはく離抵抗

靴の表底のはく離抵抗は、JIS T 8101 の表底のはく離試験方法によって試験したとき、表－4 に適合すること。

(3) 耐踏抜き性

靴の耐踏抜き性は、JIS T 8101 の耐踏抜き試験方法によって試験したとき、表-4 に適合すること。

(4) かかと部の衝撃エネルギー吸収性

かかと部の衝撃エネルギー吸収性は、JIS T 8101 のかかと部の衝撃エネルギー吸収性試験方法によって試験したとき、表-4 に適合すること。

(5) 耐滑性

靴の耐滑性は、JIS T 8101 の耐滑性試験方法によって試験したとき、表-4 に適合すること。

(6) 帯電防止性能

靴の帯電防止性能は、JIS T 8103 : 2001 の 9.1 及び JIS T 8103-1983 の第 2 試験方法によって試験したとき、1 個当たりの電気抵抗(R)が表-4 に適合すること。

表-4

項目	規格	
耐衝撃性及び耐圧迫性 試験条件：S種	サイズ(足長)	
	すき間(mm)	
	23 以下	12.5 以上
	23.5~24.5	13.0 以上
	25~25.5	13.5 以上
	26~27	14.0 以上
	27.5~28.5	14.5 以上
29 以上	15.0 以上	
	※すき間…中底と先しんのすき間	
表底のはく離抵抗	300N以上	
耐踏抜き性	くぎが貫通したときの力が 1100N以上	
かかと部の衝撃エネルギー吸収性	吸収エネルギーが 20 J 以上	
耐滑性	靴底の動摩擦係数が 0.20 以上	
帯電防止性能	JIS T 8103:2001 の 9.1 によって試験したとき、靴 1 個当たりの電気抵抗 (R) が、 $1.0 \times 10^5 \leq R \leq 1.0 \times 10^9 \Omega$ ( $0.1 \leq R \leq 1000M\Omega$ )	
	JIS T 8103-1983 の第 2 試験方法によって試験したとき、靴 1 個当たりの電気抵抗 (R) が、 $1.0 \times 10^5 < R < 1.0 \times 10^8 \Omega$ ( $0.1 < R < 100M\Omega$ )	

## 7 品質及び外観

靴は、仕上げが良好で、形状が均整かつ堅固なもので、傷、斑点、汚れ、その他著しく外観を損なうような欠点がないものとする。

## 8 検査

### (1) 帯電防止性能検査

靴の帯電防止性能検査は、JIS T 8103-2001 の 9.1 に規定する試験方法によって抜取検査を行うと共に JIS T 8103-1983 の 6.1.2 に規定する第 2 試験方法によって全数検査を行う。

### (2) 材料および完成品検査

材料および完成品についての検査は合理的な抜取方法によって行う。

## 9 包装

靴は 1 足ずつ個装箱に詰める。

## 10 表示

(1) 靴には、社標、サイズ、JIS マーク、JIS 認証機関名又はその略号、JIS 規格による種類、JIS 認証番号、製造業者名又はその略号、製造年月又はその略号等を表示する。

### (2) 個装箱

靴の個装箱には、品名、サイズ、JIS 規格による種類、製造業者名又はその略号等を表示する。

## 11 静電靴試験票

靴には、1 足毎に静電靴試験票(様式-1)を添付する。

表-5

単位 mm

No.	名称	使用材料	備考
1	先革	牛クロム型押し革 黒	厚さ 1.7±0.2
2	腰革	〃 〃	〃
3	市革	〃 〃	〃
4	パッチ革(当て革)	〃 〃	〃
5	ファスナーカバー革	〃 〃	〃
6	べろ革	牛バースキン 〃	厚さ 1.0±0.2
7	はとめ裏	〃 〃	〃
8	べろ落ち防止革	〃 〃	〃
9	インポケ	〃 〃	〃
10	防水革	牛ソフト革 〃	厚さ 1.1±0.2
11	反射材	再帰性反射布 オレンジ	幅 15 標準
12	先裏	綿、合成繊維混紡帆布	片面目止加工
13	履口裏	合成材(マリーク) グレー	
14	履クッション	ウレタンスポンジ	厚さ 10 標準
15	マジックテープ	合成樹脂製 黒	幅 25 標準
16	サイドファスナー	樹脂コイルファスナー NO.5 〃	長さ 180~200 標準
17	はとめ	真鍮製	#300 丸/黒天塗
18	月形しん	再生革	
19	甲縫糸	合成繊維紙 黒	#20 番手相当
20	中底	導電性合成材	
21	先しん	強化性樹脂	
22	踏抜防止板	ステンレスバネ鋼	厚さ 0.4 標準
23	表底(ミッド)	発泡合成ゴム 黒	静電配合
24	表底(アウト)	耐油性合成ゴム 〃	〃、表-2による
25	中敷	合成材カップインソール 黄	導電構造、抗菌・防臭加工
26	靴ひも	綿、合成繊維混紡丸ひも 黒	長さ 1500 標準

図-1 外觀

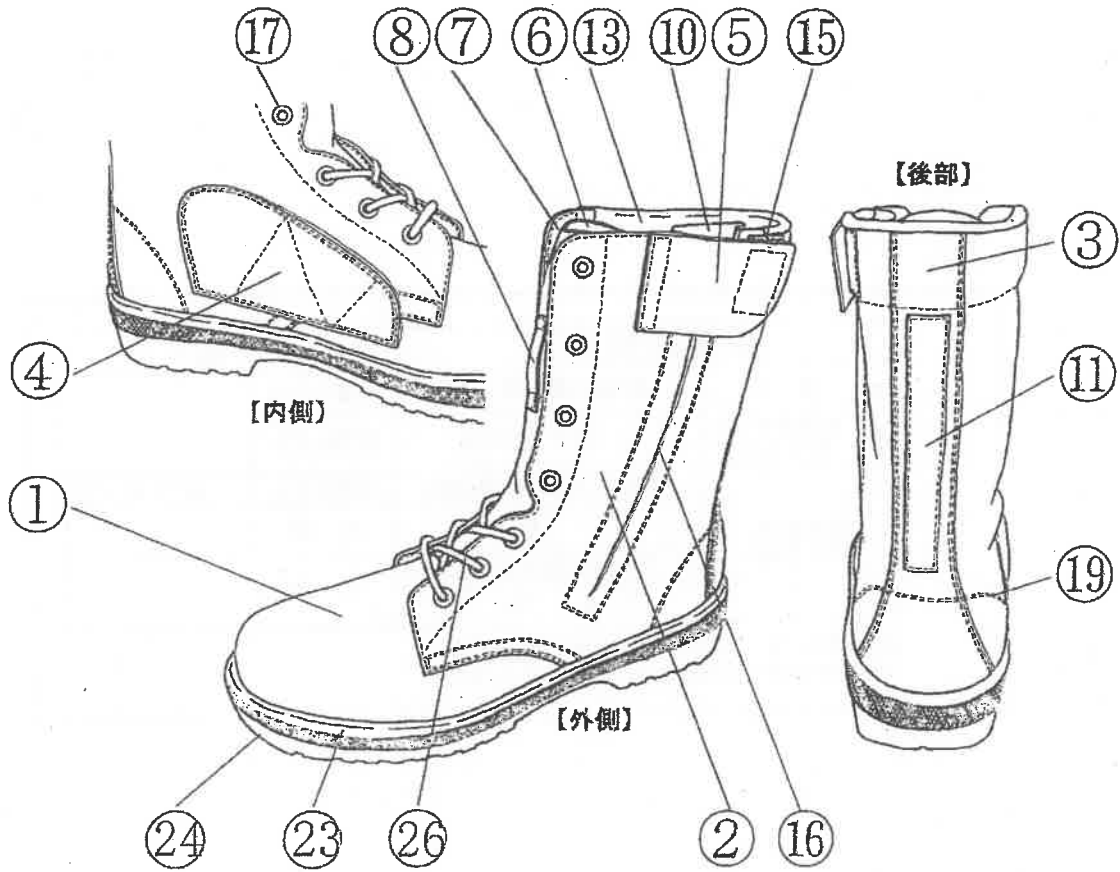
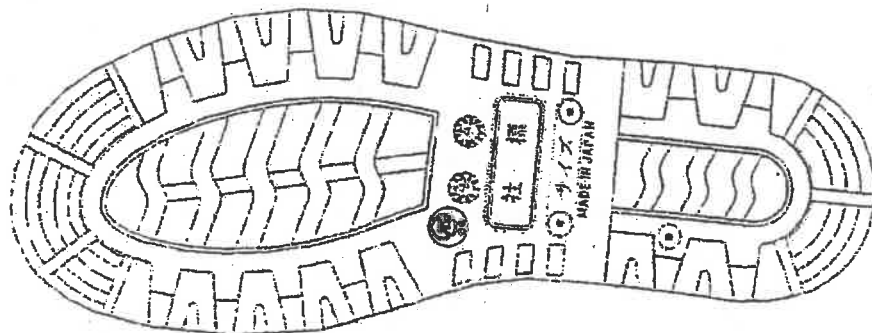


図-2 底意匠



様式-1 静電靴試験票

静電靴試験票				試料番号	No.
規格	種類	静電気帯電防止靴		検査年月日	
	電気抵抗 (R) 10 <sup>6</sup> Ω (MΩ)	0.1 ≦ R ≦ 1000		検査担当者	
電気抵抗 10 <sup>6</sup> Ω (MΩ)	JIS規格法(抜取検査)20°C			着用年月日	年 月 日
	左		右	所 属	
	個別測定法(全数検査)			氏 名	
	合 格				

(注) 個別測定法とは、JIS T 8103-1983 中の第 2 試験方法を採用。  
 お届け：本校内の事項をご記入の上安全担当部門にお渡しください。

7



## 11 長靴仕様書

八尾市

1 適用範囲

本仕様書は、八尾市消防本部が購入する、「長靴」について適用する。

2 構造及び名称

構造及び名称は図に示すとおりである。

3 大きさ

大きさはJ I S S 5 0 3 7 (ゴム底布靴及び総ゴム靴の標準呼び寸法)に規定する呼び寸法による。

4 使用材料

(1) ゴム

ゴムはすべて使用目的に適合する様に調整した組成の均等なものでなければならない。

(2) 布

布はすべて密度の均等な使用目的に適合する組織をもつものでなければならない。

(3) 踏抜防止板

中底部へステンレス (厚み0.4mm・J I S T 8 1 0 1 4、4耐踏抜き性にて合格する物)を使用する。

5 品質

(1) 外 観

本品は形状が均整で、次の各項に適合するものでなければならない。

ア 胴、甲その他貼り合わせ部分または貼り付け部分の密着が良好で、ゴム離れ、ゴム浮きなどの欠点がないこと。

イ 本底は、プレス加工により、耐久性及び摩擦力にすぐれたものとし、底意匠は、滑り防止の為にラジアル (吸盤付) 型とすること。(図-2)

ウ 吊り込みが完全であること。

エ ゴムの表面に、いおうが析出していないこと。

オ 使用上有害な傷、亀裂、巣、気泡、異物混入その他これに類する欠点がないこと。

カ 目立って外観を損ずるような斑点、汚れ、模様の不鮮明その他の欠点がないこと。

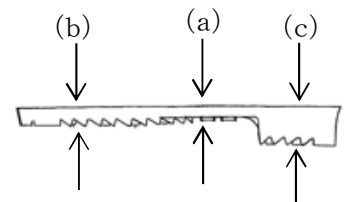
(2) 履口寸法 標準サイズ26.0cmの場合の履口寸法 (内径) は、380mm以上400mm以下とする。それ以外のサイズについては、標準サイズ26.0cmの履口寸法 (内径) を基準にして製造すること。

(3) 厚 さ

外底、ヒール、胴等各部の厚さは (表-2) に適合しなければならない。

(表-2) (単位mm, 許容差: ±1mm)

外 底			胴
不踏部 (a)	踏付主要部 (b) (山を含む)	ヒール部 (c)	
2.0	9.0	28.0	1.0以上



(4) 高 さ

本品の高さは (表-3) に適合しなければならない。

許容差は±10mmとする。但し左右を1足とする場合の左右差は5mm以内とする。

(表-3)

(単位mm)

センチ	胴前丈	胴後丈	センチ	胴前丈	胴後丈
24.0	300	290	26.0	300	290
24.5	300	290	26.5	300	290
25.0	300	290	27.0	300	290
25.5	300	290	28.0	300	290

## (5) 寸法

(単位：mm)

サイズ	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	27.0	28.0
足囲	E E E						

ただし、規格外については、別途指示による。

## (6) 性能

本品は6に規定する試験方法により試験し（表-4）に適合しなければならない。

(表-4)

外底の試験	引張試験	引張強さ (MPa/cm <sup>2</sup> )	9以上
		伸び (%)	350 "
	老化試験	引張強さの残留分 (%)	80 "
胴及び 甲ゴムの 試験	引張試験	引張強さ (MPa/cm <sup>2</sup> )	13 "
		伸び (%)	420 "
	老化試験	引張強さの残留分 (%)	80 "

## 6 測定及び試験方法

J I S規格S 5 0 0 5の7に規定する試験方法を適用するものとする。

## 7 検査

検査は外観検査を行なうとともに、この仕様書に規定する各種試験を行い、その結果によって合格。不合格を決定する。

## 8 表示

本品にはつぎの項目を表示しなければならない。

## (1) 呼び寸法

## (2) 製造業者名（または略号）

## (3) 原産地

## 9 応札にあたっては、本仕様書を十分に検討し、疑義ある場合は当本部係員によく問いただし、その内容を熟知のうえ応札すること。

契約後における仕様書上の疑義は、当局の解釈によるものとする。

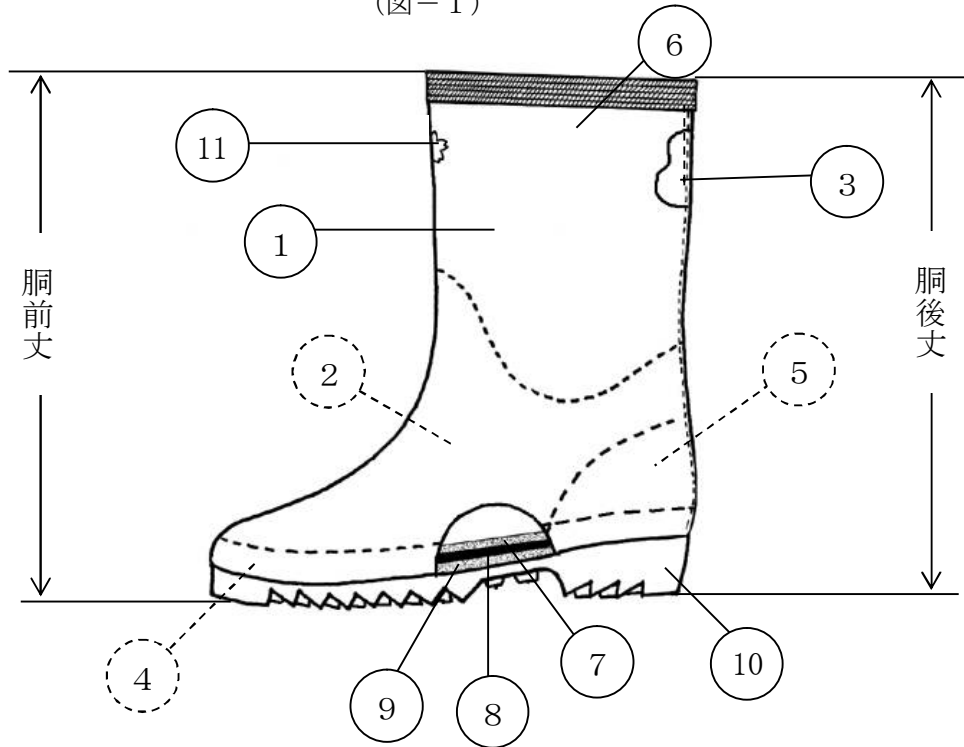
10 完成品は装着上及び美観上、支障がないこと。

11 その他本仕様書に記載なき事項についても良心的に対処し、特に不明な点は当本部係員の指示を受けること。

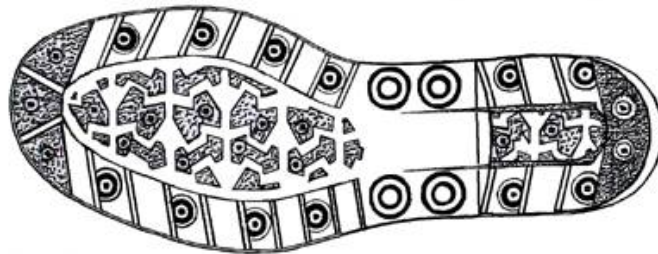
各部の名称

ゴム長靴各部の名称は 図-1 及び 表-1 による。

(図-1)



(図-2)



(表-1)

番号	部品名	番号	部品名
1	胴 ゴ ム	8	ステンレス板
2	甲 ゴ ム	9	下貼中底ゴム
3	裏 布	10	外 底 ゴ ム
4	内補強テープゴム	11	フロントマーク(黄色団マーク)
5	後 胛 ゴ ム	12	
6	履口テープゴム	13	
7	上貼中底ゴム	14	

## 12 ケプラー手袋仕様書

八尾市

## ケプラー手袋仕様書

### 1 適用範囲

この仕様書は、八尾市消防本部が購入する次の物品について適用する。なお、災害現場等に使用するもので縫製等、十分に留意する事。

### 2 使用材料

部品名	規格
甲側 親指甲側	表面・裏面については、次の繊維によるダブルニットとする。 表面 : パラ系芳香族ポリアミド繊維 裏面 : メタ系芳香族ポリアミド繊維
	目付け 380 g / m <sup>2</sup> ± 20 g
	色相 紺色又はオレンジ
甲アテ生地	5 mm厚 中硬質ウレタンフォームに100%綿白生地貼り合わせた生地を使用する。
掌側	表面・裏面については、次の繊維によるダブルニットとする。 表面 : パラ系芳香族ポリアミド繊維 裏面 : 100%綿糸
	目付け 340 g / m <sup>2</sup> ± 20 g
	色相 黄色
掌側アテ生地	PU人口皮革0.7 mm厚 ライトグレー
氏名札	綿100%
縁取りテープ	PU合成皮革 紺色又はオレンジ
手首絞り	8C強力ゴム
縫糸	面ファスナー、氏名札及び縁取りテープはポリエステルスパン糸 上記以外はパラ系芳香族ポリアミド繊維
袖口開閉止め	面ファスナー (フックテープ) 50 x 30 mm 紺色又はオレンジ
	面ファスナー (ループテープ) 55 x 30 mm 紺色又はオレンジ
袖口開閉止め	表面にはPU人口皮革0.7 mm厚ライトグレー 裏面には面ファスナー (フックテープ)

### 3 縫製等

#### (1) 全体

- ア 全ての材料は、十分に検査され本仕様書の要求を満たすものを使用する。
- イ 運針数は25 mm間に10針以上とする。
- ウ 縫い代は、2～3 mmとする。
- エ 縫い目には、縫い飛びや、はずれのないこと。
- オ 糸調子は、縫い目が優良で縫い曲がりのないこと。

カ 縫い初め及び縫い終りの糸止めは、返し針を行い完全に糸止めをすること。

(2) 甲飾り

甲飾りは4山とし、中間層には5mm厚中硬質ウレタンフォームに100%綿白生地を貼り合した緩衝材を甲部所定の位置に取り付ける。

(3) 掌及び指アテ革

ア 縫製個所により、内縫い又は外縫いを使い分けて縫製する。

イ 掌部にアテ生地を縫い付ける。(添付図及び見本品参照)

(4) 手首絞り

甲掌側の一ヶ所に一連の帯ゴムを縫い付ける。

(5) 袖口止め

マジックテープを所定の位置に縫いつける。

(6) 袖口

裾部をPU合成皮革テープで縁取り縫いをする。

(7) 裁断型

スパチュレートカットを使用し装着感をよくすること。

(8) 片布

手袋裏面には、氏名及びサイズ片布を縫い付ける。

ア 氏名片布

白布に所属・氏名表示をした片布を縫い付ける。(34 x 41mm)

イ サイズ片布

白布でサイズ表示をした片布を見やすい部分に縫い付ける。

(9) 構造一般

ア 正常に着装した場合

(ア) 指先等に不要な、だぶつきがないこと。

(イ) 指、甲、掌等のバランスがとれ、装着感がよく、装着時に簡単に緩んだり脱げたりしないこと。

(ウ) 容易に生地又は縫い目にほつれが生じないこと。

イ 手袋に使用する各部の材料は、すべて良質の物を使用し、完成品は寸法、形状等が本仕様書に定めるとおりであり、傷、むら、斑点、汚れ、その他外観を損なうようなものがない。

(10) その他

製品は、1双ごとに袋に入れ、外部からサイズが確認できるようにサイズ表示を貼る。

## 13 Tシャツ仕様書

八尾市



# Tシャツ仕様書

この仕様書は、八尾市消防本部（以下「当本部」という）が購入するTシャツについて適用する。

## 1 内 容

- (1) 品名  
Tシャツ
- (2) 型式  
半袖丸首Tシャツ
- (3) 品番・色  
EKS-110 EK-06
- (4) 素材  
ポリエステル100%
- (5) プリント  
左胸・左袖・襟下・背中
- (6) 刺繍  
個人ネーム

## 2 その他

- (1) プリント  
所定の位置に定めるマークをプリントすること。プリントは洗濯等により容易に剥離しないようにすること。
- (2) 刺繍  
右袖口に個人ネームの刺繍を入れること。
- (3) 納品  
製品は1着ごとにプレスしてビニール袋等で包装し、所属ごとに梱包して消防本部が指定した場所に納入すること。
- (4) その他  
使用素材や縫製上による不良品は契約業者において無償で修理又は交換すること。本仕様書に定めない事項等、疑義が生じた場合は、消防本部の指示を受けること。また、記載されていない箇所について、当然行わなければならない事項であれば良心的に対処すること。



## 14 エンブレム仕様書

八尾市

## エンブレム仕様書

この仕様書は、八尾市消防本部（以下、「当本部」という）が購入するエンブレムについて適用する。

### 1 品名

エンブレム

### 2 材質

#### (1) 上部

ロゴ部分 シリコン材  
「八尾と Y」部分は銀色、マークは金色

#### (2) 生地

ラムース（ポリエステル 65% ポリウレタン 35%）  
オレンジ色

#### (3) ベース裏

ホットメルト ナイロン系 100ミクロン  
紺色

#### (4) 内装

ポリエチレンウレタン 厚さ 3mm～5mm  
上記以外の部分 アルミ蒸着ポリウレタン積層フィルム  
オレンジ・ネイビー・金の3色印刷  
マジックテープ オス 黒色

### 3 構造

- (1) 表面シートにスクリーンプロセスでプリントし、彫刻金型を使用して、表面ベース生地に高周波ウェルダー機で溶着、溶断成形し、表面及び裏面マジックテープ オスを重ね、熱接着フィルムを使用して、高周波ウェルダー機で接着する。
- (2) 彫刻金型に熱硬化性シリコン樹脂を充填し、周辺の不必要樹脂をふき取りその上に表面ベース生地を置き熱板で押圧して硬化接着を行う。
- (3) 高周波ワッペンに硬化接着したシリコンを接着させる。

### 4 染色堅牢度

耐光堅牢度		4級以上	JIS	L	0842
水堅牢度	(変)	4～5級以上	JIS	L	0846
	(汚)	4～5級以上	JIS	L	0846

摩擦堅牢度（乾） 4～5級以上 J I S L 0 8 4 9  
（湿） 4～5級以上 J I S L 0 8 4 9

## 5 その他

- (1) 契約後における仕様書上の疑義は、当本部の解釈によるものとする。
- (2) 完成品は装着上及び美観上、支障がないこと。
- (3) その他本仕様書に記載なき事項についても良心的に対処し、特に不明な点は当局係員の指示を受けること。

# 各被服図

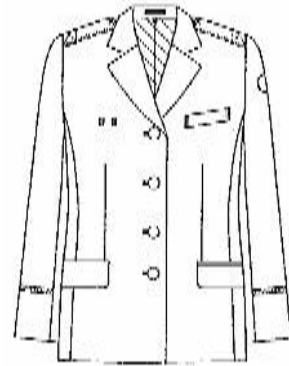
八尾市

衣 (冬服)

前 面  
男 性



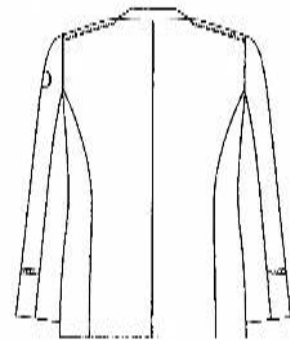
前 面  
女 性



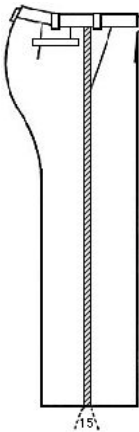
後 面



後 面

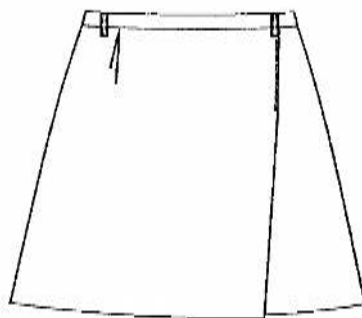


ズボン

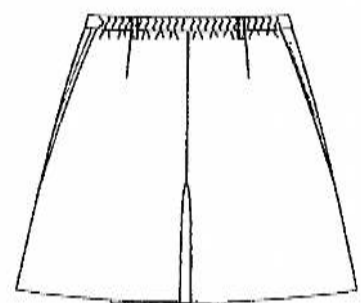


キュロットスカート

前 面



後 面

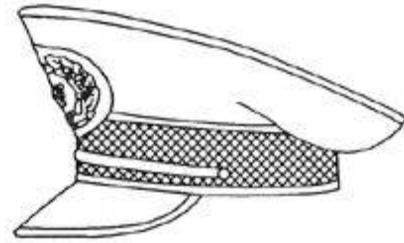


帽（冬帽、夏帽）

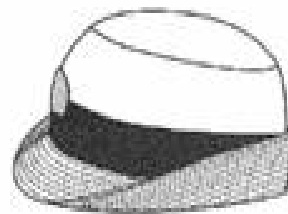
前 面

側 面

男性



女性

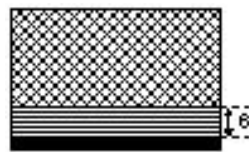
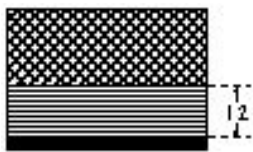


周章

団長、副団長

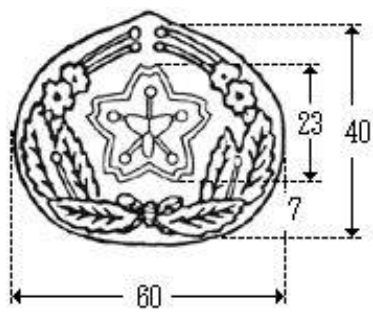
分団長、副分団長

部長、班長、団員



き章

あごひも留めボタン



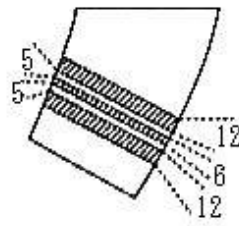


ボタン

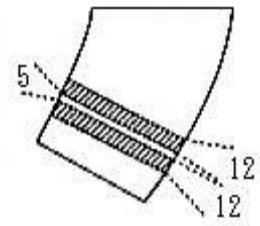


袖章

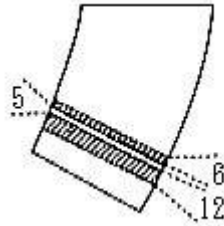
団長



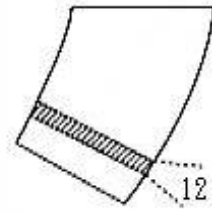
副団長



分団長、副分団長



部長、班長、団員

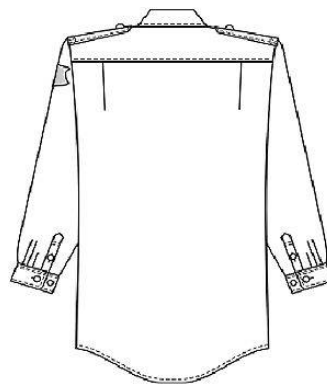


衣 (夏服)

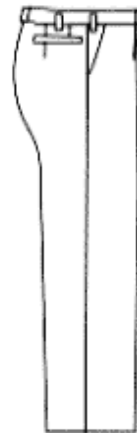
上衣 前面



後面

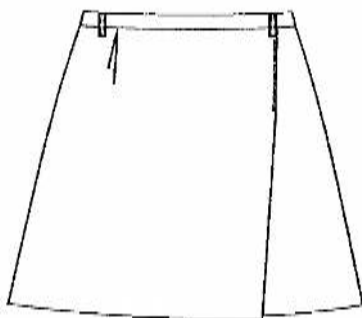


ズボン

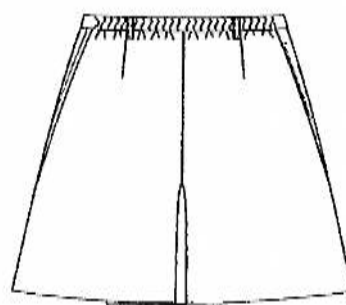


キュロットスカート

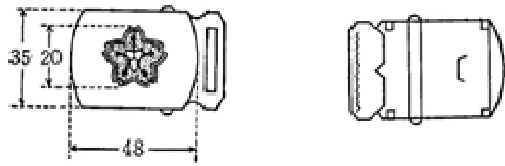
前面



後面



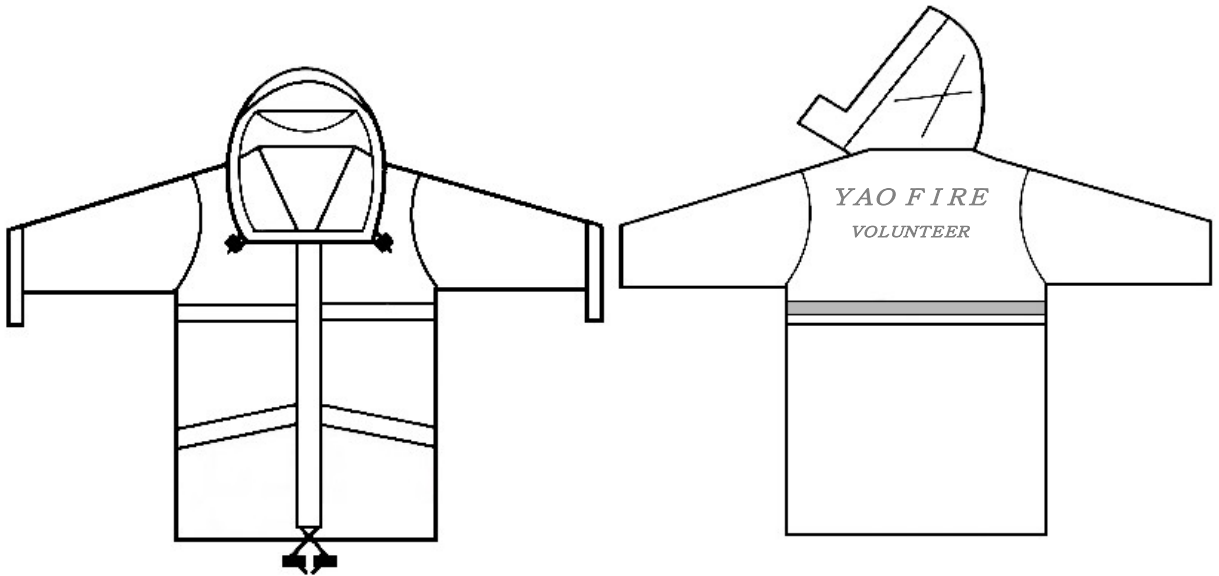
ベルト（冬服用、夏服用）



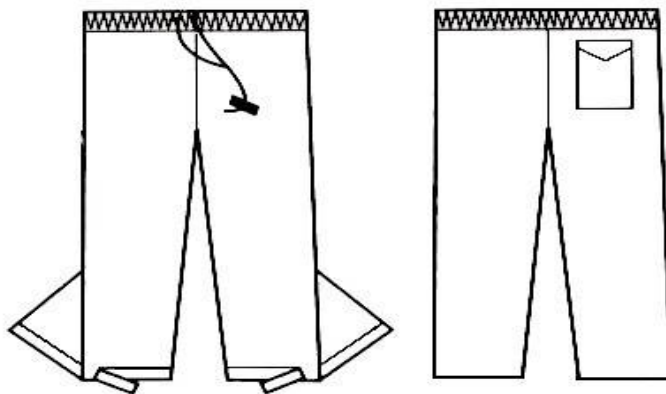
雨衣

上衣 前面

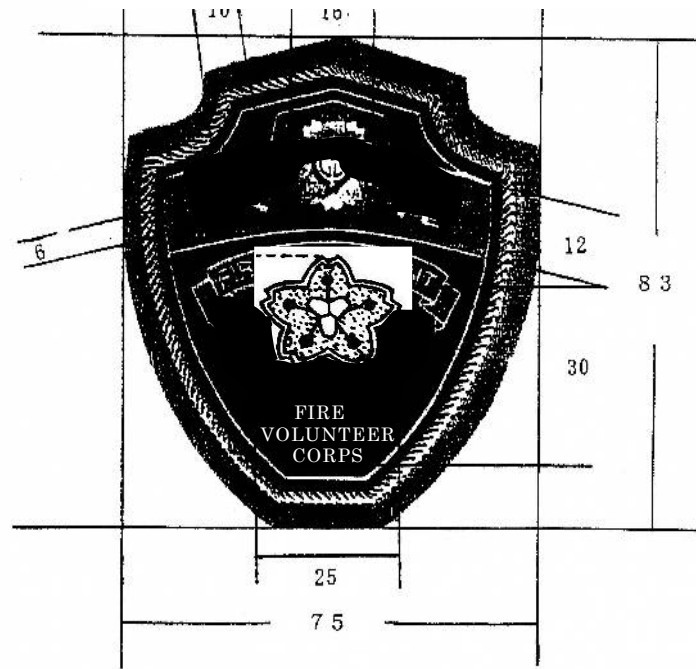
後面 頭巾



ズボン



エンブレム



備考 数字は、寸法を示し、その単位は、ミリメートルとする。